

地域経営（自治）

「環境と調和する自立した社会を目指して」

(1) 持続可能な地域社会づくり

※ く 〉内は、「決算事項別明細書」の該当ページを表しています。

① まちに にぎわいを取り戻す

〈97・99・149・181 ページ〉

○ 地方創生推進事業

「稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標達成に向け各種施策を展開した。

また、総合戦略の進捗管理にあたっては、地方創生本部及び地方創生市民会議の意見を聞きながら、施策の改善・推進に努めた。

〈地方創生本部〉

・開催日：平成30年8月22日(水)

・内 容：稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施状況報告、地方創生関連交付金の活用など

〈地方創生市民会議〉

・開催日：平成30年12月13日(木)

・内 容：稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施状況報告、地方創生関連交付金の活用など

○ 会津若松市交流事業 ※新規

・ 児童交流事業

実 施 日 平成30年7月29日(日)～8月1日(水)

内 容 会津若松市から児童ら15人が訪れ、会津藩士の墓参や宗谷小学校の児童と交流した。

・ 会津藩北方警備に関するパネル展

開 催 日 平成30年7月1日(日)～31日(火)

場 所 キタカラ アトリウム

・ 会津藩北方警備に関する特別授業

開 催 日 平成30年7月～9月

内 容 市内小学校5校の6年生に対し、会津藩北方警備及び会津若松市とのつながりを学ぶ特別授業を実施した。

○ ちょっと暮らし移住体験推進事業

・ 移住体験住宅の整備

これまでの3棟3室(下勇知、西浜、まちなか)のから、新たに下勇知2号と更喜苦内1号を整備したほか、民間ウィークリーマンションの協力を受け、事業の拡大を図った。

利用実績

住宅名	利用者数	利用日数	延べ利用者数	期間
下 勇 知 1号	-	-	-	5月から10月まで
下 勇 知 2号	-	-	-	
西 浜 1号	4組 6人	71日	119人	
更喜苔内 1号	1組 1人	25日	25人	
まちなか 1号	-	-	-	5月から3月まで
ウィークリーマンション	1組 1人	30日	30人	通年
合 計	6組 8人	126日	174人	-

○ 最北端・食マルシェ開催費補助事業

・ 最北端・食マルシェ 2018

平成30年8月25日(土)、26日(日)に開催予定であったが、悪天候のため両日中止となった。

○ 稚内市子ども芸能祭・南中ソーラン祭開催事業

・ 南中ソーラン全国交流祭in稚内 2018

平成30年8月25日(土)に開催予定であったが、悪天候のため中止となり、稚内市体育館において「南中ソーラン交流会」を開催した。

参加団体 29団体 1,478人(引率含む)

② 人と自然が共生した環境社会の実現

〈133 ページ〉

○ 環境基本計画推進事業

・ 稚内市環境審議会の開催

開催日 平成30年11月19日(月)

議 事 (1)稚内市小型風力発電設備等の設置及び運用の基準に関する条例の一部改正(案)について

(2)環境アセスメントに係る自治体意見の提出について

・ 稚内市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の推進

計画期間 平成23年度～令和2年度

計画目標 平成18年度における二酸化炭素排出量を基準とし、平成23年度から令和2年度までの10年間で二酸化炭素排出量を538,000Kg-CO₂(7.3%)削減

※ 平成30年度の実施状況

各課に配置している温暖化防止推進員が点検シートを報告

	H18(基準年)	H28	H29	H30
CO ₂ 排出量(1,000kg-CO ₂)	7,331	7,263	7,187	7,030
削減率(基準年度比)	-	0.9%	2.0%	4.1%

・ 稚内市地球温暖化対策実行計画(地域)の推進

計画期間 平成23年度～令和2年度

計画目標 二酸化炭素排出量を、令和2年度で基準年度(平成2年度)比25%削減を目指す。

③ 「食」のあり方を見つめ直す

〈167 ページ〉

○ 食育推進事業

- ・「食育月間」の取組について

開催日 平成30年6月1日(金)～13日(水)

場所 稚内市立図書館

内容 「食育」関係図書展の開催・生活習慣病予防及び健康増進につながる知識や方法に関する
掲示物と食品ディスプレイの展示。

- ・「食育講演会」の開催

開催日 平成30年10月13日(土)

場所 稚内市保健福祉センター

参加対象 幼稚園・保育園・小中学校に子を持つ保護者、幼稚園教諭・保育士、小中学校教諭、栄養
教諭、栄養士ほか

参加者 50人

講演内容 演題 「『食』の魅力、再発見！」

講師 札幌保健医療大学 保健医療学部栄養学科長 教授・農学博士 荒川 義人 氏

(2) パートナーシップによるまちづくり

① 市民の声を活かし開かれた市政の推進

〈93・105 ページ〉

○ 「ふれあいトーク」の開催

- ・地域の課題や市政について、市長と市民が意見交換を行い、市政に反映させることを目的に開催した。

第22回 平成30年5月31日(木) 増幌コミュニティセンター 14人参加

第23回 平成30年7月18日(水) 南地区活動拠点センター 25人参加

○ 広報紙発行事務

- ・年12回発行(全戸配付)
- ・広報紙「広報わっかない」の編集・作成業務を稚内北星学園大学に一部委託

○ FM わっかない放送事務

- ・「ハートフルわっかない」 平日3回、土日2回放送
- ・「元気ハツラツわっかない」 週1回放送
- ・「市政ふれあい通信」 本放送月1回、再放送月1回(ウェブラジオ配信)
- ・「学びふるさと再発見」 平成26年3月で番組終了。過去に放送されたものをウェブラジオで配信
- ・「防災・災害ひとロメモ」 1日1回毎日放送

○ TV 広報市民ニュース放映事務

- ・年52回放送(毎週土曜日)

- ホームページ管理運営事業
 - ・ アクセス件数 520,402 件（昨年度 472,731 件）
 - ・ 各課ページ更新件数 2,097 件（昨年度 2,386 件）
 - ・ バナー広告掲載数 2 枠（昨年度 1 枠）

② コミュニティ活動の促進

〈101 ページ〉

- まちづくり委員会支援事業

委員会	主たる活動内容
天北地区	カフェ天北への協力
恵北・増幌地区	花いっぱい運動
声問地区	花いっぱい運動
西浜地区	カエルロード交通安全推進事業、凧作り凧上げ大会、アイスクャンドル事業
宗谷地区	宗谷路クリーン大作戦、スノーキャンドル・アイスクャンドル事業
大黒・末広地区	ハロウィン「夢灯り」、図書館花いっぱい運動、アイスクャンドル事業
南地区	植樹事業
港地区	「港小祭り」への協力、医療・健康に関する懇談会
宝来地区	宝来地区いきいき健康講座
北地区	花いっぱい運動
富岡・はまなす地区	花いっぱい運動

※ 各まちづくり委員会の掲載順は、設立年月日による。

- 地域集会所等改修事業
 - ・ クトネバツ集会所(煙突修繕)
 - ・ 夕来集会所(屋根・外壁改修工事)
 - ・ 西浜集会所(土留め改修工事、窓修繕)
 - ・ 東浦集会所(屋根改修工事、窓一部改修工事)
 - ・ 栄町内会館(物置改修工事)
 - ・ 更喜苫内集会所(玄関ポーチ屋根修繕)
- コミュニティ助成事業
 - ・ 恵北町内会が利用する備品の整備を行った。
内容:テント、ウエイト、テーブル、椅子、台車の整備

○ 地域活動拠点施設管理運営事業（主な利用形態:各種サークル、各町内会、老人クラブ活動）

・ 利用者数の状況

施設名	平成 29 年度	平成 30 年度
宝来地区活動拠点センター	33,553 人	35,918 人
東地区活動拠点センター	32,726 人	35,285 人
富岡・はまなす地区活動拠点センター	24,201 人	21,919 人
南地区活動拠点センター	20,202 人	19,104 人

○ 協働のまちづくり推進事業

・ 協働のまちづくり活動支援事業補助金

自主的な「まちづくり活動」を行う市民団体等の取組みに対して支援を行い、市民と行政の協働によるまちづくりの推進を図った。（補助率 2/3、限度額 30 万円（2 年目以降 10 万円））

① 富岡 Links : 補助金額 138,000 円

地域のつながりの構築を目指し、地域の人々と子ども達が世代を超えて協力し合い「富岡さくらいっぱい植樹の集い」「富岡スノーキャンドル祭り」を開催し、まちに明るさと賑わいを創出した。

② 宗谷健幸人プロジェクト : 補助金額 300,000 円

乳児と未就学児のより良い発育発達と健康づくりを目的にセミナーの開催やガイドブックを作成し、安心して子育てができる環境づくりに取組んだ。

③ 介護支援専門員稚内会 : 補助金額 124,000 円

高齢者支援をきっかけとして、地域包括ケア体制づくりの推進や共生社会の実現を目指し、セミナーを開催する等、介護予防に対する意識向上及び介護支援相談員の役割を啓発した。

④ 特定非営利活動法人ここ : 補助金額 100,000 円

つながりのある住みやすいまちづくりを目指すとともに、資源の有効活用事業を実施し、高齢者等外出が困難な方とのコミュニケーションを通じて、地域づくりの環境整備に努めた。

⑤ ゆうち自然学校 : 補助金額 100,000 円

幼児自然保育の実施や野遊び並びに育児をサポートする活動及び環境の充実を図った。

③ 生涯にわたる学びの支援

〈179 ページ〉

○ 生涯学習総合支援センター管理運営事業 ※新規

- ・ 生涯学習総合支援センター（風〜る わっかない）落成式 平成 30 年 4 月 1 日（日）

・ 地方創生推進事業

地場産品を活かした女性農家によるケータリング（出張調理）事業「“おふくろの味”を活かしてビジネスに」

開催日等 平成 31 年 2 月 17 日（日） 稚内総合文化センター 2階 美術室

参加者数 43 人

特別市民講座「デコ巻きずし講座」

開催日等 平成 30 年 9 月 25 日（火） 稚内市生涯学習総合支援センター

参加者数 12 人

特別連携講座「美利香(ピリカ)料理教室」

開催日等 平成31年2月17日(日) 稚内市生涯学習総合支援センター

参加者数 14人

生涯学習講演会「私たちが描く！未来の生き方」

開催日等 平成31年3月17日(日) 稚内総合文化センター 小ホール、会議室A・美術室(中継会場)

参加者数 400人

○ 生涯学習運営事業

・ 生涯学習推進アドバイザーの配置及び派遣

アドバイザー3人を、生涯学習総合支援センターへ配置し、生涯学習相談の場を提供するほか、市民講座や市民グループの要請に応じて派遣。

・ 生涯学習フェスティバルの開催

「2018 まなびふれあいフェスタ in わっかない」の開催

「ハロウィン・ぬりえギャラリー」 応募者数 520人

「第61回稚内市小中音楽祭」 出演者 702 名人(14校)、来場者数 928人

「第17回 SO-YA 夢コール(合同合唱祭)」 出演者 293人、来場者 328人

「いきいき芸能発表会」 出演者 41人、来場者 250人

「市民サークル展」 参加団体 15 団体

「生涯学習フェスティバル」 ステージ発表 220人、体験コーナー57人、来場者 640人

④ 人権の尊重と平和な社会の構築

〈97・101 ページ〉

○ 男女共同参画事業

・ 「第3次稚内市男女共同参画行動計画」(2019年度～2023年度)の策定

これまでの成果や課題を踏まえ、「第3次稚内市男女共同参画行動計画」を策定した。

「男女共同参画推進委員会」

行動計画の策定に関して、市長の諮問に応じて、必要な調査及び審議を行い答申した。

[委員数]10人、[開催回数]3回

「市民アンケート調査」

男女を取り巻く様々な課題について、市民の意識や実態を把握するために実施した。

[送付]2,000人(市内居住の20歳以上の方) [回収]622人(31.1%)

「事業所アンケート調査」

男女を取り巻く様々な課題について、市内事業所の意識や実態を把握するために実施した。

[送付]100社(市内で5人以上の従業員を雇用している事業所) [回収]52社(52.0%)

「素案に対するパブリックコメント」 [意見]0件

・ パネル展の実施

開催期間 平成30年6月～平成31年3月

開催場所 市立図書館、稚内北星学園大学、稚内総合文化センター、稚内南小学校、天北小学校

- ・ 男女共同参画講演会の開催
開催日 平成30年11月9日(金)
開催場所 稚内市役所5階正庁
参加者数 50人

○ 人権擁護推進事業

- ・ 「人権の花」運動
実施日 平成30年5月23日(水) 稚内東小学校(代表校)
稚内人権擁護委員協議会と連携し、市内小学校(全11校)に花の苗40株と培養土を配布し、花を育てることで「命を大切に作る心」、「協力し合う心」、「相手を思いやる心」など、人権についての心を育む活動を行った。また、平成30年度は、北海道より地域人権啓発活動活性化事業(都道府県事業)を受託し、人権啓発物品の作成や新聞広告を掲載するなど、人権意識の高揚を図った。

(3) 健全で適正な自治体経営

① 経営的視点に立った行財政運営

〈89・97・103・105・115ページ〉

○ 議会ICT推進事業

- ・ 議員個々に貸与したタブレット端末を活用し、本会議及び各委員会などの議会運営を実施するとともに、ペーパーレス化の推進と、迅速な情報の伝達及び共有化を図った。

(平成29年度導入)

議員用タブレット端末(LTEモデル) 16台

議会事務局用タブレット端末(WiFiモデル) 4台

文書共有システム SideBooksクラウド本棚

- ・ SNS等を利用したゼロ予算での議会広報

ホームページやフェイスブック、動画サイト「YouTube」等を活用し、ゼロ予算で議会の活動を広く発信した。

○ 政策調整一般事務費(行政評価の実施)

- ・ 平成30年度の重点取組事業について内部評価を行った。

○ 総合計画策定事業

- ・ 第4次総合計画の計画期間が平成30年度をもって終了することから、平成29年度から新たなまちづくりの指針として「第5次総合計画」の策定作業を進めてきた。平成30年度は、総合計画審議会にて第5次総合計画の策定に関して意見を伺うとともに、パブリックコメントを実施し、第5次総合計画を策定した。

- ・ 総合計画審議会

第5次総合計画に関して市長の諮問に応じて、必要な調査及び審議を行うために設置

〔委員数〕25人 〔開催回数〕3回

- ・ パブリックコメント

市民を対象に11月1日(木)～14日(水)まで実施 (提出意見なし)

- 職員研修事業

- ・ 人材育成を推進するため、職員研修を実施した。職階に応じて実施する階層別研修や、社会情勢の変化や直面している課題に即応できる能力の習得を目指す専門研修、派遣研修のほか、eラーニングや、自主研修への支援、臨時職員・非常勤職員を対象にした研修などを実施し、職員の育成に努めた。

- ・ 集合研修 13回 延べ 417人 (昨年度12回 380人)

- 一般研修 10回 延べ 368人

- 階層別研修 4回 延べ 125人

- 専門研修 6回 延べ 243人 (労務管理研修、ハラスメント防止研修など)

- 特別研修 3回 延べ 49人 (講演会など)

- ・ 研修機関派遣研修 8人 (昨年度 11人)

派遣先 (研修内容等)	派遣人数
市町村職員中央研修所	2人
法令実務(基礎)	1人
市町村税徴収事務	1人
全国市町村国際文化研修所	1人
固定資産税課税事務(家屋)	1人
日本経営協会「NOMA 行政管理講座」	2人
わかりやすい地方公営企業会計入門講座	1人
徴収担当者のための対人交渉力向上講座	1人
全国建設研修センター	1人
災害発生直後における対応研修	1人
防災士研修センター	2人
防災士研修講座	2人

- ・ その他派遣研修 2人 (昨年度 5人)

- (一社) 稚内青年会議所(会員)派遣 1人

- 石垣市・稚内市職員相互派遣 1人

- 社会保障・税番号制度システム整備事業

社会保障・税番号(マイナンバー)制度改正の対応に必要なシステムの改修及び整備を行った。

[改修及び整備を行ったシステム]

- ・ 個人住民税システム
- ・ 団体内統合宛名システム
- ・ 国民健康保険システム
- ・ 介護保険システム
- ・ 障がい者福祉システム

○ 統計調査事業

- ・ 平成 30 年学校基本調査(毎年)

調査実施日 平成 30 年 5 月 1 日

調査対象 小学校 11 校、中学校 7 校、幼稚園 6 校、専修学校 1 校(休校中)

調査方法 各学校単位による調査

- ・ 平成 30 年工業統計調査(製造業対象)(毎年)

調査実施日 平成 30 年 6 月 1 日

調査方法 調査員 10 名による調査票及びオンライン調査

調査対象 110 事業所(平成 29 年 6 月 1 日現在)

集計結果 108 事業所

甲(30 名以上の事業所) 18 事業所

乙 1(4~29 名の事業所) 54 事業所(うち 1 事業所は休業中)

乙 2(1~3 名の事業所) 36 事業所(うち 1 事業所は休業中)

※オンライン回答 10 件(全体の 18.5%)

- ・ 平成 30 年住宅・土地統計調査(5 年毎)

調査実施日 平成 30 年 10 月 1 日

調査対象 稚内市 175 調査区(うち、無人調査区 2)内の各調査区で抽出された 17 世帯
稚内市全体 2,941 世帯

調査方法 調査員 65 名による調査票及びオンライン調査

※オンライン回答 471 件(全体の 16.0%)

- ・ 2018 漁業センサス 海面漁業経営体調査(5 年毎)

調査実施日 平成 30 年 11 月 1 日

調査対象 海面漁業経営体(内面→川での漁業で稚内市は、経営体は無い)

稚内漁業地区 199 客体うち、調査対象客体 175(拒否客体 2 件)

宗谷漁業地区 253 客体うち、調査対象客体 206

※死亡・廃業及び漁業日数 30 日未満の客体があるため客体数は一致しない。

調査方法 客体把握調査については、各漁業協同組合の職員に依頼。

実査調査については、稚内漁業地区は、調査員。宗谷漁業地区は宗谷漁業協同組合の職員に依頼。

分野1 教育・文化

「心豊かな人と文化をはぐくむまちを目指して」

(1) 地域・家庭における教育力の向上

① 命を大切に作る心をはぐくむ

〈123・191 ページ〉

○ 児童虐待の防止

- ・ 児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会として位置付けられる「児童問題連絡会」において民生児童委員等関係機関を対象とした研修会を実施した。

○ 学校給食センター管理運営事業、学校給食供給事業

- ・ 実施回数及び給食数

	平成 29 年度		平成 30 年度	
	実施回数	食 数	実施回数	食 数
小学校	1,739 回	335,934 食	1,759 回	328,750 食
中学校	1,174 回	184,935 食	1,178 回	170,698 食
幼稚園・保育所	1,435 回	102,172 食	1,267 回	100,257 食
合 計	4,348 回	623,041 食	4,204 回	599,705 食

- ・ 特色ある学校給食の実施

小学校 4 校でバイキング給食を実施した。

(稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、潮見が丘小学校)

季節行事食の提供(5 回)

(子どもの日、十五夜、クリスマス、節分、ひなまつり)

中学校卒業記念行事食

(3 年生を対象にデザートを提供)

○ 栄養教諭による食の指導実施

- ・ 小学校 9 校 (34 回)
- ・ 中学校 2 校 (4 回)

○ 学校給食地場産物提供事業

- ・ 地元食材を利用した給食提供回数 85 回

稚内ブランド 27 回

(一夜干姫ほっけ、稚内牛乳、稚内ほたてシューマイ、宗谷の塩、宗谷黒牛、宗谷のたこ、宗谷のもずく)

地場産物(地元加工食品) 60 回

(鮭・サンマ・サバ味噌煮・特製フランクソーセージ等)

- ・ 地元食材使用料理・郷土料理等の提供

ちゃんこ鍋、各種すり身汁(カジカ等)、僧兵汁、せんべい汁等全国各地の汁もの、イモ団子汁・ジンギスカン等

○ 学校給食費助成事業

- ・ 幼稚園・小中学校に通い、給食を受ける園児及び児童生徒の保護者に対して、1年間の給食費の半額相当分を助成する。

	平成 29 年度			平成 30 年度		
	園児・児童・生徒	助成人数	助成率(%)	園児・児童・生徒	助成人数	助成率(%)
幼稚園	499 人	146 人	29.26	505 人	129 人	25.96
小学生	1,582 人	253 人	18.75	1,527 人	216 人	16.44
中学生	868 人	108 人	15.15	802 人	102 人	15.50
合 計	2,949 人	507 人	19.80	2,834 人	447 人	18.10

※ 但し、助成率の算定に当たっては、児童・生徒数から生活保護及び就学援助該当者を除く

② 安全で安心な子育て環境づくり

〈179 ページ〉

○ 子育て推進事業

- ・ 子育ての日事業

開催日等 平成 30 年 4 月 28 日(土) 稚内総合文化センター

来館者数 1,100 人(昨年度 1,300 人)

- ・ 子育て平和の日記念式典の開催

開催日等 平成 30 年 9 月 1 日(土) 宗谷岬公園

出席者数 198 人(昨年度 185 人)

- ・ 平和折り鶴祭の開催

開催期間 平成 30 年 7 月 27 日(金)～8 月 16 日(木)

展示場所 中央商店街アーケード、市庁舎、市立図書館、キタカラ

展 示 数 20 万 6,000 羽(昨年度 20 万 3,012 羽)

- ・ 平和学習の充実(平和学習資料の配布、稚内市子ども会議 ほか)
- ・ 子育て意識啓発(宗谷教育講演会、全市子育て運動交流研修会の開催)

○ 稚内市子ども安全育成センター運営事業

- ・ 街頭育成補導活動

定例、特別街頭育成補導の実施(年 46 回 142 人参加)、専任育成員による街頭育成補導活動

- ・ 「校外生活のめあて」配布(配布数 市内小中高校生 3,285 人)
- ・ 非行防止ポスター、標語の募集 (ポスター 96 点、標語 285 点)
- ・ 有害環境の浄化(有害図書類取扱店立入調査 ほか)
- ・ スクールガードボランティア登録数 市内 6 地区 437 人(平成 31 年 3 月 31 日)
- ・ 安全・安心マップ配布(市内小学校 251 枚) 新 1 年生 240 枚、掲示用配布 11 枚
- ・ 稚内市スクールガードボランティア全市研修会 (平成 30 年 12 月 1 日(土) 参加者 57 名)

③ 就学前児童の教育の充実

〈191 ページ〉

○ 子どものための教育給付費支給事業

- 子ども・子育て支援法に基づく支給認定を受けた子どもの就学前教育に要した費用を、特定教育施設へ支弁した。

・ 支給対象人員

	満3歳児	3歳児	4歳児以上	合計
幼稚園(1号)	109人	1,932人	4,083人	6,124人
幼稚園(2号)	0人	0人	0人	0人
合計	109人	1,932人	4,083人	6,124人

※ 1号認定：満3歳以上の学校教育のみ(保育の必要性なし)の就学前子ども

※ 2号認定：満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

・ 私立幼稚園児童数の状況(平成30年5月1日現在)

	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
稚内ひかり幼稚園		35人	40人	38人	113人
稚内大谷幼稚園		20人	16人	15人	51人
稚内富岡幼稚園		34人	36人	58人	128人
稚内幼稚園	1人	23人	24人	26人	74人
稚内鈴蘭幼稚園	1人	51人	44人	44人	140人
広域利用				1人	1人
年齢別合計	2人	163人	160人	182人	507人

(2) 時代に即した学校教育の推進

① 生きる力をはぐくむ教育の充実

〈169・173・175 ページ〉

○ 教育研究所運営事業

- 多様化・複雑化している教育現場を支援するための調査・研究を行い、更なる教育の振興・発展のため、今日的な教育課題に即応した研修や事業を展開した。
- 学校教育指導員(2人)、専任所員(1人)を配置した。
- ICT 機器活用研修会、学校図書館活用実践交流会、特別支援教育支援員研修、外国語教育ワークショップ、市費採用教員研修などの各種研修・事業を実施し、スキルアップや実践交流を図った。

○ 教育相談・不登校対策事業

- ・ 児童生徒の問題行動や不登校問題等の課題に対応した。
- ・ 教育相談所に学校教育指導員(1人)、スクールソーシャルワーカー(2人)、教育相談アドバイザー(1人)、就学前教育アドバイザー(1人)を配置し、保護者や関係機関との緊密な連携のもと、児童生徒の問題の早期発見・早期解決や相互の関係改善を図った。
- ・ 適応指導教室に学校教育指導員(2人)を配置し、不登校児童生徒に対し、教育相談、体験活動、教科学習等の支援を通じて、心の安定や意欲向上を図り学校生活の復帰を促進した。
- ・ 教育相談所や適応指導教室をはじめとする教育委員会関係者のほか、高等学校、大学、民生児童委員連絡協議会からなる教育相談スタッフ会議を6回開催し、見守りが必要な児童生徒に関する情報交換や連携を図った。
- ・ 小学校及び中学校や教育委員会関係者からなる学校適応指導委員会を3回開催し、学校に適応できない児童生徒にかかる指導の内容や方法について情報交換・協議を行い、効果的な指導を図った。

○ 土曜授業推進事業

- ・ 土曜日に学校・家庭・地域が連携し、多様な学習、文化やスポーツ、体験活動等の機会を設け、豊かな教育環境・充実した学習機会を提供した。
- ・ 実施校 5校(稚内中学校11回、稚内南中学校9回、稚内東中学校9回、宗谷中学校10回、潮見が丘中学校10回)
- ・ 大学のオープンキャンパス、フェリー乗船体験、地域講師による講話(性教育、誕生学、薬物防止教室、人権教室等)など、様々な体験活動や学習を通して、興味や関心が広がり、将来の夢や希望について考える機会となった。

○ 学生ボランティア派遣事業

- ・ 小学校へ学生ボランティアを派遣し、学習指導及び不登校児童生徒への支援を行った。
- ・ 登録者数 14人
- ・ 派遣先 4箇所
- ・ 派遣日数(延べ) 稚内中央小学校10日、稚内南小学校10日、稚内東小学校12日、潮見が丘小学校14日

○ スクールソーシャルワーカー活用事業(北海道からの委託事業)

- ・ 問題を抱えた児童生徒に対し、そのおかれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法で課題解決への対応を図った。
- ・ 教育相談所に2人を配置した。(支援件数 不登校・家庭環境・発達障がい等に関する支援など計139件)

○ 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業(特別教育支援員配置)

- ・ 学校における生活や学習上の困難を有する児童生徒に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行った。
- ・ 支援員 21人
- ・ 配置校 8校(稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、稚内港小学校、潮見が丘小学校、稚内中学校、稚内南中学校、稚内東中学校)

② 確かな学力の定着

〈169・173・175 ページ〉

- 外国語指導助手派遣事業
 - ・ 小学校及び中学校全学校へ派遣し、英語教育の強化を図った。
 - ・ 外国語指導助手 2人
 - ・ 小学校派遣日数・授業時数 200日 608時間
 - ・ 中学校派遣日数・授業時数 114日 317時間

- 放課後学力グングン塾開催事業
 - ・ 基礎学力の定着を図るため、3・4年生を対象に、放課後や長期休暇期間中、国語、算数の学習支援を行った。（長期休暇期間は5年生も対象に行った。）
 - ・ 学校教育指導員 8人
 - ・ 実施校 4校（稚内中央小学校 66人、稚内南小学校 75人、稚内東小学校 60人、潮見が丘小学校 97人）

- 小学校教育振興事業（学校図書館協力員の配置）
 - ・ 新書や季節の本の特設コーナーを設置するなど、学校図書館の利用促進につながるような環境整備や、読み聞かせや公立図書館との連携を通じて読書活動の推進を図った。
 - ・ 協力員を9小中学校に5人配置した。

- 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業（学力検査の実施）
 - ・ CRT 学力検査（小学校～国語・算数、中学校～国語・数学・英語）を小学校全学年及び中学校1、2学年で実施し、各校の現状を分析し、指導方法の工夫・改善に向け取組んだ。

- ICT 環境整備事業（小学校・中学校） ※新規
 - ・ ICT教育を推進するため、実物投影機 56台、大型テレビ 61台をリースにより整備した。
 - ・ ICT機器の整備に並行して、教育研究所によるICT機器活用研修を通し、活用方法について学ぶ機会を提供した。

- 科学文化鑑賞等事業
 - ・ 児童生徒が自ら主体的に考え、思考を深めるなど文化・情操教育の向上を図り、「豊かな人間性」を育むため、映画鑑賞の機会を提供した。（小学生 1,526人、中学生 801人）

- 職員給与費（少人数教育事業）
 - ・ 市費採用教員 4人
 - ・ 配置校 4校（稚内中央小学校 1人、稚内南小学校 1人、稚内東小学校 1人、潮見が丘小学校 1人）
 - ・ 対象 30人以下の少人数学級編制を実施している小学校1年生及び2年生
 - ・ 成果 一人ひとりの状況に応じた、きめ細やかな指導により、生活習慣や学習規律などに関する基礎基本の徹底が図られた。

③ 社会の変化に対応した教育環境の整備

〈167・173・177 ページ〉

○ 学校評議員設置事業

- ・ 開かれた学校づくりの推進と、学校がより地域と連携・協力しながら特色ある教育活動を発展させるため、評議員を配置した。
- ・ 評議員 53 人(延べ 39 回実施)

○ 稚内南小学校整備事業

▽平成 30 年度事業内容

校舎(Ⅱ期目)が平成 30 年 12 月に完成し供用開始。

- ・ 工事監理等業務委託(校舎Ⅱ期目)
- ・ 校舎建設工事(Ⅱ期目)

▽事業費(継続費設定分 平成 27 年度～令和元年度)

2,260,267 千円

▽年度別事業内訳

平成 27 年度 実施設計業務委託

平成 28 年度 校舎解体工事

屋内運動場建設工事(Ⅰ期目)

工事監理等業務委託(屋内運動場Ⅰ期目)

平成 29 年度 屋内運動場建設工事(Ⅱ期目)

工事監理等業務委託(屋内運動場Ⅱ期目)

校舎・屋内運動場解体工事

校舎建築工事(Ⅰ期目)

工事監理等業務委託(校舎Ⅰ期目)

平成 30 年度 校舎建築工事(Ⅱ期目)

工事監理等業務委託(校舎Ⅱ期目)

令和元年度 校舎解体工事

工事監理等業務委託(解体)

令和 2 年度 外構工事

▽新屋体・新校舎の概要

新屋体総面積 1,248 m² 鉄骨鉄筋コンクリート造一部 2 階建

新校舎総面積 4,834 m² 鉄筋コンクリート造 3 階建

○ 部活動指導員配置促進事業 ※新規

- ・ 中学校における部活動指導体制の充実のため、部活動指導員を配置し、担当する教職員の支援とともに、技術の向上、適切な練習方法による事故やケガの未然防止を図った。
(稚内南中学校 1 人、稚内東中学校 1 人、宗谷中学校 3 人)

- 教員住宅整備事業(平成 29 年度からの繰越事業)
 - ・ 潮見が丘中学校教員住宅新築工事 木造 2 階建て 延床面積 79.38 m²

④ 高校・大学教育の振興

〈167 ページ〉

- 稚内北星学園大学修学支援事業（利子補給）
 - ・ 貸付枠 5 億円（預託金の 5 倍）
 - ・ 利子補給率 1.125%
 - ・ 貸付人員 26 人（貸付額 19,900 千円） 昨年度 25 人（貸付額 19,200 千円）
- 稚内北星学園大学支援事業
 - ・ 運営費補助金 50,000,000 円
 - ・ 運営費貸付金 50,000,000 円
- 稚内大谷高等学校振興費補助事業
 - ・ 父母負担軽減助成金 2,000,000 円
 - ・ 私立学校振興費 5,850,000 円
- 稚内市奨学金貸付事業（高校就学に必要な資金の貸付）
 - ・ 貸付人員 22 人(新規 1 人、継続 15 人、支度金 6 人)
- 稚内市大学育英金支給事業（給付）
 - ・ 支給対象者数 51 人（新規 10 人、継続 41 人）

(3) 活気あふれる学びの場づくり

① 学ぶ心の育成

〈177・179・181・183・185 ページ〉

- 社会教育推進事業
 - ・ 第 8 次稚内市社会教育中期計画に則り、これまで本市で培われてきた「子育て運動」を未来へと継承していくことを念頭に、楽しく学び、育ちあい、それぞれが「つながり」を保つことにより、誰もが輝けることを目標に掲げて社会教育の推進に努めた。また、今後の 5 年間ににおける社会教育やスポーツへの想い、その目指す姿の実現に向け多くの諸施策を盛り込んだ第 9 次稚内市社会教育中期計画の策定を行った。
 - ・ 地域指導者活用の促進
 - 人材バンク活用の促進(登録数 106 団体、指導者数 48 人)
 - 各分野の活動団体を紹介する「学びと遊びの玉手箱」をホームページへ掲載し、更に関係施設に配置するなどして学習の場を周知すると共に、掲載情報の更新作業を行った。

- ・ 稚内学の開設
「蝦夷地・北海道の開拓と宗教」ほか 計9講座 受講者数 延べ224人
- ・ こども稚内学
「こども稚内学スタンプラリー」(みんなおいでよ！親子ふれあいデー内で実施)
稚内市にある地名などについて、クイズ形式で学習できるスタンプラリーを設置した。
- ・ 出前講座
木工、そば打ち、しめ飾り ほか 計11講座 受講者数 191人
- ・ 市民講座の開催
《前期》
開催期間 平成30年6月7日(木)～8月9日(木)
講座内容 「心も体もリラックスゆったりヨガ講座」ほか 計7講座
受講者数 101人
《後期》
開催期間 平成30年10月20日(土)～平成31年3月2日(土)
講座内容 「楽しく奏でよう！お箏教室」ほか 計8講座
受講者数 104人
(前期、後期の合計) 計15講座 受講者数 205人
- ・ 高齢者大学の開催
楽生大学(声問地区) 8講座 受講者数 延べ110人
長寿大学(宗谷地区) 7講座 受講者数 延べ17人

○ 成人式典開催事業

開催日時 平成31年1月13日(日)
開催場所 稚内総合文化センター
成人出席者数 255人(対象者数 321人)

○ 子ども会育成事業

- ・ 南極樺太犬慰霊祭 参加者数 100人(昨年度 80人)
- ・ 稚内市子ども会スポーツ大会 参加者数 46人(昨年度 47人)
- ・ 第53回稚内市新年子ども会かるた大会 参加者数 34人(昨年度 37人)
- ・ 第16回宗谷管内子ども会かるた大会 小学生10チーム、中学生5チーム参加
(昨年度 小学生3チーム、中学生3チーム参加)

○ 青少年交流体験事業

- ・ 太田市交流事業(フレンドシップ 2018) 受入
実施日 平成30年8月22日(水)～8月26日(日)
事業内容 交流体験学習、ソーラン交流 ほか
受入人数 108人(小学生 58人、中学生 16人、風雷坊 16人、高校生サポーター8人、指導者 10人)

- ・ 青少年交流体験事業 てっぺん風の子交流団 派遣
 実施日 平成31年1月7日(月)～1月11日(金)
 事業内容 交流体験学習、ソーラン交流、歴史的建造物・産業の視察
 派遣人数 39人(小学生 23人、中学生 8人、高校生サポーター4人、指導者4人)

○ 移動図書館運行事業

- ・ 運行日数 194日
- ・ ステーション数 36ステーション(月2回)
- ・ 利用者数 1,384人(貸出冊数5,519冊) (昨年度1,294人(貸出冊数4,907冊))
- ・ 団体利用数 延べ120団体 (昨年度 延べ103団体)
- ・ ブックパック巡回 図書館で選書した学年層に合わせた図書(本のコンテナ:25冊)を一定期間で巡回させる。(14団体 幼稚園・保育園5、小学校6、中学校3)

○ ブックスタート事業

- ・ 毎月、保健福祉センターで実施される7～8か月乳児健康相談に参加した親子に、絵本2冊、読み聞かせアトバイス集などの入った「ブックスタートパック」をプレゼント。(配布数187組)

○ 図書資料整備事業、図書館維持管理事業

- ・ 利用状況

	平成29年度	平成30年度
入館者数(開館日数)	112,459人(291日)	112,167人(289日)
貸出図書数(市民一人年間冊数)	145,763冊(4.24冊)	140,220冊(4.15冊)
総蔵書数(増加図書数)	217,606冊(7,739冊)	226,109冊(7,211冊)
有効登録者数(新規登録者数)※	3,820人(729人)	3,627人(724人)
AV視聴利用件数	2,849件	2,867件

※有効登録者数：年度内に図書の貸出を1回以上利用した実人数

○ 図書館活動事業

- ・ 映画会 58回開催 参加者数515人 (昨年度 58回開催 参加者数392人)
- ・ 読み聞かせ 48回開催 参加者数141人 (昨年度 49回開催 参加者数214人)
- ・ 子ども読書週間 期間中5,342人来館 (昨年度 期間中5,370人来館)
- ・ 図書館フェスティバル 期間中3,284人来館 (昨年度 期間中2,947人来館)
- ・ 夏休み子どもアニメ上映会 8回開催 参加者数 延べ92人
(昨年度 12回開催 参加者数 延べ110人)
- ・ 図書館まつり 期間中3,844人来館 (昨年度期間中 5,757人来館)
- ・ 読書感想文コンクール 応募16校 161編 入選者数54人
(昨年度 応募16校 224編 入選者数55人)

・ 青少年科学館 サイエンススクール事業

- オープンラボ 8回開催 参加者数 226人 (昨年度 8回開催 参加者数 262人)
- サイエンスショー 3回開催 参加者数 264人 (昨年度 3回開催 参加者数 385人)
- わくわくサイエンス 7回開催 参加者数 130人 (昨年度 6回開催 参加者数 123人)
- サマースクール 1回開催 参加者数 2日間延べ60人(昨年度 1回開催 参加者数 延べ50人)
- キッズチャレンジ 3回開催 参加者数 32人 (昨年度 3回開催 参加者数 32人)
- 冬休み自由研究 2回開催 参加者数 22人 (昨年度 2回開催 参加者数 31人)
- 大人のためのサイエンス工房 2回開催 参加者数 21人 (昨年度 3回開催 参加者数 29人)
- ちょこっとラボ 10回開催 参加者数 620人 (昨年度 10回開催 参加者数 407人)
- サイエンススタディ 1回開催 参加者数 45人(昨年度 2回開催 参加者数 94人)
- 水族館&科学館「すいかまつり」 年1回開催 参加者数2日間延べ1,018人 (昨年度 639人)
- サイエンスクラブ 10回開催 参加者数 延べ45人
- ちょこっとサイエンス 1回開催 参加者数 21人
- 白川英樹博士特別実験教室 1回開催 参加者数 20人

・ 青少年科学館 プラネタリウム事業

- プラネタリウム一般投影 入場者数 4,171人 (昨年度 3,524人)
- 星空と音楽の夕べ 4回開催 参加者数95人 (昨年度 5回開催 参加者数91人)
- 「南極の夜空オーロラ」投影 参加者数1,935人 (昨年度 参加者数 1,785人)
- 映像で見る「南極の水棲生物」 90回開催 参加者数 1,066人
- 「オーロラ上映会&トークライブ」 3回開催 参加者数 57人
- 「プラネタリウム室休憩所(JAXA映像提供)」 1回開催 参加者数 198人

・ 青少年科学館科学普及事業

- 企画展「脳がだまされる！？～ふしぎな錯視の世界」
4月28日～9月2日 入館者数 29,702人
- 巡回展「はじめての海の科学～わたしたちのかけがえのない海～」
7月14日～9月2日 入館者数 16,281人
- 巡回展「星空ウォーカー遠くをのぞくと昔がわかる！？ー」
1月26日～3月3日 入館者数 1,393人

○ 青少年科学館管理運営事業

- ・ 青少年科学館入館者数 41,684人(昨年度 37,398人)
(うち年間パスポート利用者数 延べ2,604人(昨年度 延べ2,202人))

○ 少年自然の家維持管理事業

- ・ 少年自然の家総利用者数 15,500人 (昨年度 17,963人)
 - 宿泊者数 12,174人 (昨年度 14,355人)
 - 日帰り者数 3,326人 (昨年度 3,608人)

- ・ 少年自然の家利用者数内訳
 - 学校利用 年間延べ 352 団体、9,063 人（昨年度 年間延べ 438 団体 11,884 人）
 - 社会教育団体利用 年間延べ 184 団体、4,636 人（昨年度 年間延べ 139 団体、3,790 人）
 - その他利用 年間延べ 96 団体、1,801 人（昨年度 年間延べ 100 団体、2,289 人）
- ・ 少年自然の家主催事業
 - 自然クラブ（1泊2日） 年間7回 142人（昨年度 年間7回 143人）
 - わんぱくチャレンジ(日帰り及び宿泊) 年間5回 203人（昨年度 年間3回 98人）
 - わくわく土曜日（日帰り） 年間2回 91人（昨年度 年間2回 81人）
 - 本気で自然体験（日帰り及び宿泊） 氷上穴釣りの開催を予定していたが、悪天候のため中止
- ・ その他、少年自然の家の活動
 - 各学童保育所の受入れ 4団体 延べ325人(昨年度 5団体 延べ348人)
 - スポーツ合宿の受入れ 37団体 延べ4,333人(昨年度 41団体 延べ5,306人)

○ 水族館水族飼育事業、水族館施設維持管理事業

- ・ 水族館入館者数 41,684人(昨年度 37,398人)
 (うち年間パスポート利用者数 延べ2,604人(昨年度 延べ2,202人))
- ・ 水族館 夏期開館式
 - 開館日 平成30年4月28日(土)
 - 入館者数 877人(大人481人、小人396人)(昨年度 1,067人)
 - 入館者(小人先着200人)に記念品を配布
- ・ 水族館夏期開館時間の延長(科学館と共同実施)
 - 開館時間を19時30分までとし、2時間30分の延長を実施
 - 実施期間 平成30年8月10日(金)～8月16日(木)
 - 時間延長による入館者数 100人(大人85人、小人9人、幼児6人)
- ・ 水族館飼育体験学習
 - ペンギン・アザラシの飼育、給餌体験を通して動物とのふれあい
 - 体験校9校、生徒数21人(昨年度 13校、32人)
 - 平成30年度 生涯学習推進アドバイザー事業 子どもの広場「前期Ⅱ」
 - 「水族館の飼育体験」
 - 実施期間 平成30年7月26日(木)～27日(金)
 - 小学生 3・4年生 16人(26日 8人、27日 8人)
- ・ 水族館サマースクールの実施（科学館と共同実施）
 - ペンギン・アザラシの給餌、アザラシ池の清掃、科学館での実験教室
 - 実施日 平成30年8月2日(木)～3日(金)(2日間)
 - 参加者数 延べ60人(小学校4年生～6年生対象)

・ 水族館特別展示

「なりきり飼育員さん☆」

実施期間 平成30年4月28日(土)～5月13日(日)

入館者数 6,013人(大人3,998人、小人2,015人)

「すいせいせいぶつの川」、「ビックドクターフィッシュ」

実施期間 平成30年4月28日(土)～5月31日(木)

入館者数 7,707人(大人5,180人、小人2,527人)

水族館&科学館「すいかまつり」

スタンプラリー、スーパーボウルすくい、記念写真撮影、餌やり、ビックドクターフィッシュ等

実施期間 平成30年9月22日(土)～23日(日)

入館者数 1,018人(大人681人、小人337人)

・ 移動水族館(タッチプール及びペンギン・アザラシ展示)

「市制施行70年 開港70年 第6回 わっかない海の駅まつり」

実施日 平成30年7月16日(月) 稚内副港市場

「児童館まつり」

実施日 平成30年9月29日(土) 東児童館

「稚内市こまどりスキー場スノーフェスタ2019」

実施日 平成31年2月10日(日) こまどりスキー場

○ 水族館開館50周年記念事業(科学館と共同実施)

開催期間 平成30年7月14日(土)～9月30日(日)

期間入館者数 20,804人(大人14,851人、小人5,953人)

・ 「水族館開館50周年記念セレモニー」

実施日 平成30年7月21日(土)

入館者数 725人(大人424人 小人301人)先着300人(大人150人 小人150)記念品配布

・ 「水族館・科学館愛称募集」

募集期間 平成30年4月1日(日)～5月10日(木)

募集総数 197点

両館愛称:「わっかりうむ」に決定

表彰日 平成30年7月21日(土)水族館開館50周年記念セレモニーで表彰

・ 「アザラシ命名式」

募集期間 平成30年4月2日(月)～5月31日(木)

募集総数 911点

命名者数 ラッキー 7人 ナナ 6人 合計 13人

表彰日 平成30年7月21日(土)水族館開館50周年記念セレモニーで表彰

・ 「歴史パネル展」

期間 平成30年7月21日(土)～9月30日(日)

入館者数 19,304人(大人13,664人 小人5,640人)

- ・「魚類展示」南の海からきたさかなたち
期 間 平成30年7月21日(土)～9月30日(日)
入館者数 19,304人(大人13,664人 小人5,640人)
- ・「記念パスポート」
販売期間 平成30年7月21日(土)～平成31年3月31日(日)
- ・「50周年記念誌」
作成部数 100冊

青少年科学館実施イベント

- ・巡回展「はじめての海の科学～わたしたちのかけがえのない海～」
期 間 平成30年7月14日(土)～9月2日(日)
入館者数 16,281人(大人11,572人 小人4,709人)
- ・映像で見る「南極の水棲生物」
期 間 平成30年7月14日(土)～9月2日(日)
入館者数 1,066人(大人767人 小人299人)
- ・「オーロラ上映会&トークライブ」
開 催 日 平成30年7月22日(日)
入館者数 57人(大人43人 小人14人)

② 芸術・文化活動の普及・推進

〈181 ページ〉

○ 稚内市民文化祭

- ・ 第49回稚内市民書道展
稚内書道連盟／文化センター小ホール／平成30年10月5日(金)～7日(日)
- ・ 第44回朔北美術協会展
朔北美術協会／文化センター小ホール／平成30年8月7日(火)～12日(日)
- ・ 第57回市民俳句大会
市民俳句大会実行委員会／文化センター美術室／平成30年9月2日(日)
- ・ 二派合同華道展
池坊、東池坊／文化センターロビー／平成30年9月14日(金)～16日(日)
- ・ 合同茶会
宗徧流正伝庵、和敬会／文化センター小ホール、婦人文化室／平成30年9月16日(日)
- ・ 第36回市民盆栽展
稚内盆栽愛好会／文化センター小ホール／平成30年9月15日(土)～16日(日)
- ・ 第40回あぼろん展
あぼろん展実行委員会／文化センター小ホール／平成30年9月21日(金)～23日(日)
- ・ 第42回道民芸術祭・第57回稚内市民総合芸能祭
稚内市文化協会／文化センター大ホール／平成30年9月23日(日)

- ・ 第 50 回宗谷管内芸術祭短歌大会・第 57 回市民短歌大会
短歌大会実行委員会／市立図書館／平成 30 年 10 月 14 日(日)
- ・ 混声合唱団稚内フラウエンコール第 33 回定期演奏会
混声合唱団稚内フラウエンコール／文化センター大ホール／平成 30 年 11 月 11 日(日)
- ・ 稚内子どもミュージックサークルエンジェルボイス創立 15 周年記念創作ミュージカル「君と描くメロディー」
稚内子どもミュージックサークルエンジェルボイス／文化センター大ホール／平成 30 年 12 月 16 日(日)

○ 文化事業(主催、共催)

- ・ 第 33 回札幌交響楽団稚内定期演奏会
- ・ 第 56 回北海道吹奏楽コンクール稚内地区予選及び第 40 回稚内地区吹奏楽祭
- ・ 第 41 回稚内地区管楽器個人コンクール・第 42 回稚内地区アンサンブルコンクール
- ・ 陸上自衛隊北部方面音楽隊てっぺんコンサート
- ・ 第 17 回 SO-YA 夢コール合同合唱祭

③ 生涯スポーツの推進

〈187・189 ページ〉

○ 平和駅伝開催事業

- ・ 日本最北端平和駅伝大会
実施日 平成 30 年 9 月 15 日(土)
17 チーム、参加者数 77 人 (昨年度 27 チーム、参加者数 120 人)

○ 健康体力づくり推進事業

- ・ 体力づくり強調月間事業(年齢別体力測定事業)
1 回、参加者数 41 人 (昨年度 1 回、参加者数 18 人)
- ・ ニューススポーツの普及・啓発
ニューススポーツ体験事業 稚内養護学校 18 人
まちづくり出前講座 2 件、69 人
ニューススポーツ用具の貸出 154 件
- ・ ウォーキング事業
歩こう会 4 回、参加者数 52 人
大歩こう会 参加者数 41 人

○ スポーツ大会補助事業

- ・ スポーツ全国大会出場補助金
第 61 回小学生・中学生全国空手道選手権大会
第 41 回(2018 年度)全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
第 37 回 JSBA 全日本スノーボード選手権大会

- ・ スポーツ大会開催補助金
小学生バレーボール大会道北大
北海道スノーボード選手権大会

○ 市民スポーツ活動促進事業

- ・ 各種市民スポーツ活動促進事業
ジュニアスポーツ教室 9 教室、登録者数 231 人
親子スポーツ教室 16 組
友好都市(石垣市)スポーツ交流事業 石垣市 16 人
- ・ スポーツ教室の開設
種目別スポーツ教室 7 種目 8 教室、受講者 92 人
スポーツ活動の継続とクラブ化 1 団体
チャレンジスポーツクラブ 受講者 25 人
- ・ スポーツ講習会の実施
サッカー講習会 参加者 166 人
- ・ 市民皆スポーツの推進
市民参加型競技大会実施奨励と助成 15 団体
- ・ 指導者育成事業
研修会実施(27 人)、公認指導者資格取得及び資格更新講習会の参加(5 人)、交通費助成
- ・ 体育施設利用促進事業
トレーニング機器の充実、セミナー実施(26 人)
- ・ 表彰事業
功労賞(4 人)、功績賞(7 人)、有功賞(7 人)及び特別賞表彰(1 人)並びに受賞祝賀会の実施
- ・ 競技力向上事業
全国大会出場及び全国等研修事業参加助成 個人 16 人
全道等強化事業及び研修事業参加助成 6 団体、6 事業
外部指導者等による研修事業開催助成 27 団体、44 事業
加盟団体主催強化事業助成 3 団体
- ・ 競技力向上講習会
5 種目 延べ 794 人
 - ・バドミントン講習会 延べ 68 人
 - ・スキー講習会 延べ 28 人
 - ・サッカー講習会 延べ 150 人
 - ・バスケットボール講習会 延べ 444 人
 - ・スノーボード講習会 延べ 104 人

○ スポーツ施設整備及び維持管理事業

・ 整備工事

温水プール水夢館 競泳プール可動床改修工事
大沼球場 第1球場本部放送席外壁補修工事、屋根補修工事

・ スポーツ施設利用状況

施設名	利用者数	
	平成29年度	平成30年度
総合体育館	54,980人	50,076人
市体育館	16,286人	17,563人
緑体育館	18,746人	17,526人
スポーツセンター（カーリング場、弓道場、アーチェリー場）	3,378人	3,724人
野球場（大沼球場、市営球場、若葉球場）	22,202人	22,890人
球技場（富士見球技場、若葉球技場）	9,309人	7,010人
ノシャップソフトボール場	501人	629人
庭球場（緑庭球場、宝来庭球場）	4,279人	3,952人
スキー場（こまどり・上勇知各スキー場）	25,659人	17,485人
パークゴルフ場（こまどり・ノシャップ公園各パークゴルフ場）	22,451人	22,602人
坂の下海水浴場	1,160人	1,407人
学校体育館開放（中央小、南小、東小、潮見が丘小、港小、東中）	18,840人	19,447人
水泳プール（潮見が丘、沼川、水夢館）	105,360人	88,176人
（うち温水プール水夢館）	（102,340人）	（84,995人）

④ 歴史の継承と文化財の保護・保存の推進

〈181・183 ページ〉

○ 旧瀬戸邸維持管理事業

- ・ 旧瀬戸邸入館者数 10,239人(昨年度 12,249人)

○ 権太記念館維持管理事業 ※新規

- ・ 権太記念館入館者数 18,827人
- ・ 講座、特別展の開催

① 稚内市権太記念館歴史フォーラム

開催日 平成30年5月25日(金)

参加者 100名

- ・ 基調講演「権太における知られざる国境」
講師 北海道大学客員教授 佐々木 利和 氏
- ・ パネルディスカッション「権太の歴史と稚内とのつながりについて」

② 特別展Ⅰ「引き揚げと北防波堤ドーム」

特別展Ⅱ「時間が止まった島 占守島」

開催日 平成30年5月25日(金)～10月31日(水)

③ 特別展Ⅲ「近世における宗谷・樺太」

特別展Ⅳ「戦後から昭和30年代の稚内」

開催日 平成30年11月4日(日)～平成31年1月31日(木)

④ 開館時間延長に伴う展示解説 郷土史家・大橋 幸男氏 写真家・斉藤 マサヨシ氏

開館時間延長期間 平成31年2月15日(金)～3月15日(金)(19時15分まで、サハリン館開催時のみ)

○ 北方記念館管理事業

・ 北方記念館入館者数 17,113人(昨年度 18,652人)

・ 企画展の開催

① 北方記念館ミニ企画展『稚内の鉄路-天北線の記憶-』

平成30年4月29日(日)～平成30年5月31日(木)

② 海からの贈り物展

平成30年8月1日(水)～平成30年9月30日(日)

③ 近世における宗谷・樺太

平成30年11月4日(日)～平成31年3月24日(日) (稚内副港市場 港ギャラリーにて展示)

分野2 保健・医療・福祉

「みんなで育てる笑顔（ほほえみ）あふれるまちを目指して」

(1) 健康づくりの推進と医療の充実

① 医療体制の充実

〈129・133 ページ〉

○ 地域医療対策推進事業 ※新規

・ 地域医療を考える稚内市民会議

市立稚内病院をはじめ、本市の病院及び診療所を市民が協力しながら支えることにより、地域医療の充実を図り、誰もが安心して住み続けられる地域を目指し、地域ぐるみの事業を実施した。

構成団体:25 団体

医療市民会議開催日:平成 30 年 5 月 23 日(水)

[第 4 回稚内の医療を考える市民の集い]

開催日等 平成 30 年 10 月 12 日(金) 稚内総合文化センター 小ホール

参加者数 約 100 人

[夢は医者☆未来を拓く講演会]

開催日等 平成 30 年 10 月 27 日(土)(稚内東中学校)、平成 30 年 11 月 30 日(金)(稚内中央小学校)、平成 30 年 12 月 19 日(水)(稚内南中学校)

参加者数 297 人

・ 医療と健康のまちづくり応援団による取組み

地域医療について関心を持ち、市民一人ひとりが健康で暮らし続けられるように、「病院」・「健康」・「未来」・「医師誘致」の 4 つの課題別応援団から構成される「医療と健康のまちづくり応援団」によって、地域医療環境の充実のため様々な運動を展開した。

[医師らに対する感謝の気持ちを伝える活動]

平成 30 年度 212 通

・ 開業医誘致助成金

[貸借助成金及び設置費助成金]

1.医療法人社団オロロン会 南稚内クリニック 助成額:3,088,700 円

2.わっかない耳鼻咽喉科 助成額:5,081,500 円

・ 救急医療確保対策補助金

脳卒中における救急告示医療機関として休日または夜間において救急医療を担う医療機関に対して、運営に要する経費の一部を補助し、救急体制の維持、充実を図った。

交付先: 社会医療法人禎心会 稚内禎心会病院 補助金額: 20,000,000 円

- 市立稚内病院の運営及び整備
 - ・ 医師及び医療技術職員の確保対策
 - ・ 中学生を対象にした医療探検講座の開催(参加者数:18人)
 - ・ 医療機器の整備(医事システム、核医学診断用装置、眼科レーザー光凝固装置 等)
 - ・ 本館施設整備(空調機改修工事、市水揚水ポンプ更新工事 等)

- 市立稚内こまどり病院の運営
 - ・ 療養型病床数 45床

② 心とからだの健康づくりをサポート

〈123・131 ページ〉

- 健康増進センター管理運営事業
 - ・ 平成27年6月22日(月) (開館6,232日目) 入館者数430万人達成
 - ・ 平成27年12月30日(水) (開館6,415日目) 入館者数440万人達成
 - ・ 平成28年7月17日(日) (開館6,607日目) 入館者数450万人達成
 - ・ 平成29年2月22日(水) (開館6,800日目) 入館者数460万人達成
 - ・ 平成29年8月24日(木) (開館6,976日目) 入館者数470万人達成
 - ・ 平成30年4月11日(水) (開館7,190日目) 入館者数480万人達成
 - ・ 平成30年10月31日(水) (開館7,383日目) 入館者数490万人達成

[利用状況]

	平成29年度	平成30年度	開館からの累計
開館日数	347日	320日	7,501日
入館者数	176,356人	161,503人	4,956,869人
うち観光客	16,885人	16,358人	494,205人
うち外国人	790人	798人	35,727人
月平均利用者数	14,700人	13,460人	18,990人
日平均利用者数	508人	504人	660人

○ 予防接種対策事業、エキノコックス症対策事業

事業内容	区分	平成 29 年度	平成 30 年度
予 防 接 種			
四種混合	接種者数	906 人	776 人
三種混合	接種者数	0 人	0 人
二種混合（ジフテリア・破傷風）	接種者数	257 人	270 人
不活化ポリオ(小児マヒ)	接種者数	7 人	8 人
BCG	接種者数	239 人	186 人
麻しん・風しん混合(MR)ワクチン 1・2 期	接種者数	466 人	469 人
水痘	接種者数	397 人	405 人
子宮頸がん予防ワクチン接種	接種者数	13 人	23 人
ヒブワクチン接種	接種者数	883 人	748 人
小児用肺炎球菌ワクチン接種	接種者数	885 人	742 人
日本脳炎	接種者数	1,558 人	1,755 人
B型肝炎	接種者数	672 人	551 人
高齢者等インフルエンザ予防接種	助成者数	5,097 人	5,370 人
肺炎球菌ワクチン接種	助成者数	697 人	721 人
エキノコックス症血液検査	受診者数	335 人	266 人

○ 歯の健康推進事業

- ・ 歯と口の健康フェスティバルを開催

開催日等 平成 30 年 6 月 9 日(土) 稚内市保健福祉センター

参加人数 305 人

○ 健康教育事業、健康相談支援事業

事業内容	区分	平成 29 年度	平成 30 年度
健康教育事業	実施回数	56 回	61 回
	受講者数	1,813 人	1,962 人
健康相談支援事業	実施回数	35 回	39 回
	実施人数	281 人	258 人
訪問指導	実施人数	44 人	70 人

※平成 30 年度から健康手帳交付事業は健康教育事業と統合

健康手帳交付者数 564 人(昨年度 479 人)

○ がん検診事業、骨粗鬆症検診事業、肝炎ウイルス検診事業

事業内容	区分	平成29年度	平成30年度
胃がん検診	受診者数	919人	857人
子宮がん検診	受診者数	780人	610人
超音波検査	受診者数	788人	610人
乳がん検診	受診者数	670人	895人
肺がん検診	受診者数	1,662人	1,576人
喀痰検査	受診者数	59人	41人
大腸がん検診	受診者数	1,634人	1,614人
前立腺がん検診	受診者数	706人	671人
骨粗鬆症検診	受診者数	636人	664人
肝炎ウイルス検診	受診者数	220人	191人

・ 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業

一定年齢に到達した対象者に対し、無料で検診を受けられるクーポンを発行して受診を促した。

子宮がん検診 9人、乳がん検診 87人

○ ピロリ菌除菌事業

- ・ 中学2、3年生を対象に、ピロリ菌の検査及び、ピロリ菌陽性者で希望する者に対し、除菌治療を実施した。

ピロリ菌検査 延べ208人、除菌治療 8人

(2) 子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくり

① 妊娠・出産期の支援の充実

〈129 ページ〉

○ 妊婦健康支援事業、産婦健康支援事業、特定不妊治療費助成事業、

事業内容	区分	平成29年度	平成30年度
マタニティ教室	実施回数	18回	17回
	受講者数	102人	104人
育児教室	実施回数	6回	6回
	受講者数	70人	46人
妊婦健康診査	受診件数	3,814件	3,472件
産婦健康診査 ※新規	受診件数	—	254件
特定不妊治療費助成事業	助成人数	15人	18人
こんにちは赤ちゃん事業	実施者数	190人	144人

② 子どもたちの健全な成長を支援

〈125・129 ページ〉

○ 早期療育通園センター管理運営事業

- ・ 運動、知的、言語等の発達に遅れや障がい等があると思われる幼児等及びその家族に対して、児童福祉法に基づく児童発達支援(就学前児童)及び放課後等デイサービス(就学児童)としての指導及び相談を実施した。

利用人数 延べ 2,074 人(うち他町村 370 人)

(昨年度 延べ 2,269 人(うち他町村 358 人))

○ 養育医療給付事業

- ・ 養育のため入院が必要な未熟児に対して、医療費の一部を給付した。

年度	平成 29 年度	平成 30 年度
給付実績	3 人	5 人

○ 乳幼児健診・相談事業、親子健康教育事業、乳幼児歯科健診事業

事業内容	区分	平成 29 年度	平成 30 年度
乳幼児健康診査など			
3～4 か月児 健康診査	健診回数	12 回	12 回
	受診者数	228 人	180 人
7～8 か月児 健康相談	相談回数	13 回	12 回
	受診者数	236 人	186 人
1 歳児 健康相談	相談回数	12 回	12 回
	受診者数	233 人	209 人
1 歳 6 か月児 健康診査	健診回数	14 回	13 回
	受診者数	229 人	231 人
3 歳児 健康診査	健診回数	15 回	14 回
	受診者数	262 人	234 人
股関節脱臼検診	検診回数	12 回	12 回
	受診者数	207 人	195 人
母子訪問	実施者数	442 人	583 人
親子のクッキング教室	実施回数	3 回	3 回
	受講者数	81 人	71 人
フッ化物塗布事業	実施回数	39 回	38 回
	実施者数	706 人	699 人
サホライド塗布事業	実施回数	39 回	38 回

③ 総合的な子育て支援体制の整備推進

〈123・125・127 ページ〉

○ ファミリーサポートセンター事業

- ・ 会員同士が子育ての相互援助活動を行う組織

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度
お願い会員(依頼会員)	172 人	168 人
まかせて会員(提供会員)	51 人	49 人
両方会員	28 人	27 人
合 計	251 人	244 人

○ 児童家庭相談援助事業

- ・ 要保護児童対策地域協議会の開催

	平成 29 年度	平成 30 年度
個別ケース検討会議	11 回	25 回

- ・ 家庭児童相談員を配置し、家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、相談及び指導を行った。

[相談件数]

相談内容	平成 29 年度	平成 30 年度
養護相談(児童虐待含む)	70 件	79 件
障がい相談	3 件	0 件
非行相談	2 件	1 件
育成相談	6 件	12 件
その他相談	6 件	3 件
合 計	87 件	95 件

○ 母子家庭等自立支援事業

- ・ 母子・父子自立支援員を配置し、母子家庭等の自立支援及び相談にあたった。

[相談件数]

相談内容	平成 29 年度	平成 30 年度
生活一般(医療など)	0 件	17 件
児童(養育・就職など)	2 件	1 件
経済的支援・生活援護	64 件	55 件
合 計	66 件	73 件

○ ひとり親家庭等医療費助成事業

	対象者数	助成件数	
		入院	その他
母及び父、三親等	378 人	29 件	4,513 件
児童	561 人	43 件	4,925 件

○ 乳幼児等医療費助成事業

	対象者数	助成件数	
		入院	その他
小学校就学前	1,334 人	356 件	20,462 件
小学生	1,213 人	54 件	11,968 件
中学生	600 人	21 件	4,207 件

○ 保育所保護者負担金助成事業

- ・ 子育て家庭に対する経済的負担の軽減を図るため、子どもが2人以上いる家庭へ保育料の一部を助成する少子化対策事業

助成児童数 延べ 151 人（昨年度 延べ 142 人）

○ 児童手当支給事業

区 分		3 歳未満	3 歳～小学校修了前	中学生
児童手当	被用者	4,647 人	18,558 人	6,560 人
	非被用者	1,209 人	4,135 人	1,400 人
特例給付		344 人	1,434 人	638 人
合 計		6,200 人	24,127 人	8,598 人

○ 児童扶養手当支給事業

- ・ 父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立促進のために支給した。

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度
全部支給者	2,099 人	2,105 人
一部停止者	2,457 人	2,198 人
2 子加算	1,753 人	1,654 人
3 子以降加算	304 人	313 人
合 計	6,613 人	6,270 人

○ 保育所管理運営事業

[平成30年度 児童数]

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	定員
白樺保育所	6人	11人	11人	17人	12人	11人	68人	100人
港保育所	3人	10人	12人	13人	11人	10人	59人	100人
(公立保育所計)	9人	21人	23人	30人	23人	21人	127人	200人
富岡保育園	7人	13人	14人	13人	14人	12人	73人	60人
もぐもぐ保育園			6人	6人	8人	6人	26人	30人
オアシス保育園	7人	11人	13人	14人	12人	12人	69人	60人
きらきら保育園	6人	12人	14人	12人	8人	13人	65人	60人
(私立保育所計)	20人	36人	47人	45人	42人	43人	233人	210人
(市内保育所計)	29人	57人	70人	75人	65人	64人	360人	410人
沼川保育所			1人	3人	5人	5人	14人	50人
勇知保育所								30人
恵北保育所		2人		1人	1人	1人	5人	30人
宗谷保育所				9人	22人	16人	47人	60人
(へき地保育所計)		2人	1人	13人	28人	22人	66人	170人
合計	29人	59人	71人	88人	93人	86人	426人	580人

○ へき地保育所整備事業

- ・ 宗谷保育所整備工事 2件
 - 旧宗谷保育所解体工事
 - 宗谷保育所外構工事

○ 子どものための保育給付費支給事業

- ・ 子ども・子育て支援法に基づく支給認定を受けた子どもの保育に要した費用を特定保育施設へ支弁した。
支給対象人員

	乳児	1～2歳児	3歳児	4歳以上児	合計
保育所(2号)			536人	1,037人	1,573人
保育所(3号)	238人	991人			1,229人
合計	238人	991人	536人	1,037人	2,802人

※ 2号認定：満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

※ 3号認定：満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

○ 病児保育事業

[利用状況]

	平成 29 年度	平成 30 年度
登録者数	82 人	103 人
利用人数	43 人	76 人

○ 地域子育て支援事業

年 度	箇所数	交流の場利用者数		相談件数	情報提供件数
		子ども	保護者		
平成 29 年度	3 か所	8,328 人	6,772 人	276 件	2,257 件
平成 30 年度	3 か所	8,498 人	7,159 人	177 件	2,421 件

○ 児童館管理運営事業

- ・ 児童館活動、「子ども通貨タラ」事業

[利用状況 (※その他利用を除く)]

	平成 29 年度	平成 30 年度
中央児童館	2,876 人	3,369 人
東児童館	9,558 人	10,046 人
富岡児童センター	10,300 人	8,905 人
港ふれあいセンター	3,141 人	4,310 人
富士見児童会館	1 人	廃止
南児童館	5,450 人	5,612 人
合 計	31,326 人	32,242 人

○ 学童保育所管理運営事業

[利用状況 (年間平均登録児童数)]

名称 (定員)	平成 29 年度	平成 30 年度
中央学童保育所 (35)	22 人	22 人
緑学童保育所 (60)	45 人	42 人
東学童保育所 (35)	54 人	57 人
富岡学童保育所 (65)	54 人	49 人
合 計	175 人	170 人

○ 放課後子ども教室推進事業

[利用状況]

	平成 29 年度	平成 30 年度
声間小放課後子ども教室	1,474 人	1,503 人
増幌小放課後子どもふれあい教室	1,513 人	869 人

○ 子育て支援サービス利用者支援事業 ※新規

- ・ 子育て応援サイト・アプリ え〜る

[利用状況]

	平成 30 年度
Web サイトアクセス数	46,025 件
アプリユーザー数	323 人

(3) 支え合いだれもが安心して暮らせるまちづくり

① 地域の助け合いによる福祉の推進

〈117・123 ページ〉

○ 稚内市社会福祉協議会運営費補助事業

- ・ 交付先 稚内市社会福祉協議会
- ・ 主な事業内容 福祉団体の事務局業務
共同募金助成事業
地域福祉推進事業
居宅介護事業 等

○ 民生児童委員活動支援事業

- ・ 各民生委員、児童委員（123 人）が行った相談・支援の年間延べ件数

[活動状況]

区 分	平成 29 年度		平成 30 年度	
	相談・支援件数	活動日数(延べ)	相談・支援件数	活動日数(延べ)
民生委員(児童委員)111 人	4,420 件	12,748 日	5,198 件	12,903 日
主任児童委員 12 人	274 件	916 日	302 件	818 日
合 計	4,694 件	13,664 日	5,500 件	13,721 日

○ 稚内市遺族会運営費補助事業

- ・ 交付先 稚内市遺族会
- ・ 主な事業内容 稚内市遺族会戦没者忠霊碑供養法要の開催
北海道護国神社例大祭の参加
北海道戦没者遺族大会の参加 等

- 稚内市社会を明るくする運動推進委員会運営費補助事業
 - ・ 交付先 稚内市社会を明るくする運動推進委員会
 - ・ 主な事業内容 街頭啓発活動
平成30年度「社会を明るくする運動標語コンクール」の実施
社会を明るくする運動研修会(社会浄化研修会から改名)の開催 等

- 声問ノーマライゼーション推進委員会運営費補助事業
 - ・ 交付先 声問ノーマライゼーション推進委員会
 - ・ 主な事業内容 ふれあい夏祭り
ふれあい音楽会
ふれあいもちつき会 等

- 総合福祉センター管理運営事業
利用者数 26,957人(昨年度 30,190人)

② 高齢者福祉の推進

〈121・123・263・269・271・273 ページ〉

○ 各種在宅介護支援事業の利用状況

事業名	区分	平成29年度	平成30年度
◆外出支援事業 (一般の交通機関の利用が困難な高齢者の移動手段として、特殊仕様の車両により外出活動を支援)	利用登録者数	60人	61人
	延べ利用回数	830回	709回
◆緊急通報装置給付運営事業 (日常生活に支障のある一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置して、急病などの緊急時に対応)	設置台数	18台	16台
◆簡易型緊急通報装置給付運営事業 (一人暮らしの高齢者又は虚弱な高齢者のみの二人世帯を対象に、簡易型の緊急通報装置を設置して、緊急時に対応)	設置台数	133台	109台
◆訪問理美容サービス事業 (障がいなどのため美容院に向くことが困難な方の居宅において、理美容師が訪問のうえサービスを実施)	延べ利用人数	0人	0人
◆重度要介護者居宅サービス利用支援事業 (要介護4又は5の方を在宅で介護している低所得者の方に対する支援)	利用登録者数	34人	35人
◆介護保険サービス利用者負担軽減事業費補助事業 (要介護被保険者等のうち、低所得で特に生計が困難である方を対象にサービス利用に係る負担額を一部軽減)	利用登録者数	68人	74人
◆家族介護用品支給事業 (要介護4又は5の低所得者に対してオムツなどを購入できるクーポン券を交付)	申請登録者	57人	47人
	延べ支給件数	575件	499件
◆配食サービス事業 (一人暮らしなどの理由で、調理が困難な高齢者世帯に配食と安否の確認を行う)	延べ利用人数	416人	254人
	延べ利用食数	4,796食	2,876食
◆命のバトン事業 (65歳以上の一人暮らし又は65歳以上のみの2人世帯に、救急時に必要な情報を保管する専用のキットを配布する)	配布数	102人	142人

○ 高齢者社会参加・生きがいづくり

事業名	区分	平成29年度	平成30年度
◆敬老祝品及び敬老祝金支給事業			
敬老祝品	支給人数	616人	621人
敬老祝金	支給人数	77歳	405人
		88歳	161人
		100歳	9人
◆高齢者社会参加活動事業			
バス乗車支援事業	対象者数	7,720人	7,938人
JR乗車支援事業(抜海・勇知地区)	対象者数	61人	64人
◆高齢者入浴支援事業	対象者数	10,867人	10,977人
	延べ利用人数	18,424人	20,053人
◆老人福祉センター管理運営事業	利用登録者	322人	343人
	延べ利用者	11,413人	10,710人

○ 各種活動への支援

事業名	区分	平成29年度	平成30年度
稚内市老人クラブ連合会運営費補助事業	クラブ数	42ヶ所	42ヶ所
稚内市老人クラブ交付金	会員数	1,466人	1,438人
長寿ふれあい交流事業費補助事業	助成町内会	68町	68町
	助成対象者数	8,017人	8,225人

○ 介護サービス提供基盤等整備事業費補助事業 ※新規

- ・ 利用者の安全確保及び事業の充実を図るため、老朽化したグループホームを移転、新規整備する事業者(1者)に対し補助金を交付した。

○ 介護保険基盤整備事業費補助事業 ※新規

- ・ 利用者の安全確保及び業務の効率化を図るため、老朽化したデイサービスセンターを移転、新規整備する事業者(1者)に対し補助金を交付した。

○ 介護認定審査会事務

- ・ 宗谷北部介護認定審査会の開催(49回開催)
- ・ 稚内市分認定件数 1,493件(実人数 1,761人 ※平成31年3月末 要介護認定者数)

○ 介護認定調査事務

- ・ 介護認定調査数 1,538件(市直営調査 1,425件、委託調査 113件、直営率 92.7%)

○ 短期集中予防サービス事業（通所型、訪問型）

事業名	区分	平成29年度	平成30年度
運動器の機能向上事業	実施回数	48回	46回
	参加者数	147人	135人
栄養改善事業	実施回数	8回	4回
	参加者数	8人	4人
口腔機能向上事業	実施回数	9回	1回
	参加者数	9人	1人

○ 地域介護予防活動支援事業

事業名	区分	平成29年度	平成30年度
◆介護予防サポーター等養成(育成)	実施回数	3回	7回
	養成等数	51人	78人
◆地域での介護予防教室・通いの場 (介護予防サポーター活動人数含む)	開催箇所数	12箇所	15箇所
	実施延回数	26回	25回
	参加延人数	648人	382人

※「地域での介護予防教室・通いの場」についての実施回数及び延べ参加人数は包括支援センターが直接支援を行った分を計上

○ 介護予防普及啓発事業

事業名	区分	平成29年度	平成30年度
普及・啓発など ◆認知症予防教室(脳の健康教室) ◆いきいき栄養教室 ◆健康運動教室 ◆介護予防教室	実施回数	108回	119回
	延べ受講人数	3,284人	3,229人
相談事業 ◆高齢者健康相談事業	実施回数	71回	88回
	延べ参加人数	959人	915人
その他 ◆介護予防手帳の交付	交付者数	25人	21人

○ 地域リハビリテーション活動支援事業

事業名	区分	平成29年度	平成30年度
地域リハビリテーション活動支援事業	実施回数	4回	9回
	延べ参加人数	37人	25人

○ 地域包括支援センターの運営

- ・ 保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士等の専門職を配置して、高齢者が地域で安心して生活していくための地域包括ケア体制づくりに向けて、保健福祉の総合的な相談、虐待防止、要介護状態への移行を防止するための介護予防に関する事業などを実施した。

また、社会保障充実分として包括的支援事業に位置づけられている、認知症総合支援事業、在宅医療・介護連携推進事業等を実施した。

[活動状況]

事業名	区分	平成29年度	平成30年度
◆総合相談支援事業 (在宅介護支援センター委託分含む)	延べ対応人数	7,191人	6,775人
◆地域ケア支援事業 (地域ケア会議研修会、個別ケース会議等の開催)	開催回数	7回	11回
◆権利擁護事業 (高齢者虐待、成年後見制度など)	延べ対応人数	575人	377人

○ 認知症総合支援事業

- ・ 認知症初期集中支援推進事業として、認知症初期集中支援チームによる早期診断・早期対応に向けた支援を行った。また、地域包括支援センターに配置している認知症地域支援推進員の活動の一環として、オレンジカフェ(認知症カフェ)開催の支援や「わからない認知症の方を支える家族の会 ほっとする会」の運営に関する後方支援を行った。更に、医療と介護の連携や地域における支援体制の構築を図ることを目的に、医療や介護の従事者及び市民を対象とし、認知症ケアに有効とされる「タクティールケア」について研修会を開催した。

認知症を知るきっかけの一つとして、また、認知症の知識を共有することで、認知症になっても地域でサポートし合えるまちをつくるための参加・体験型普及啓発活動としてRUN 伴(ラントモ)に参加した。

		平成29年度	平成30年度
初期集中支援	相談受理数	11人	13人
	対応終了	5人	10人
	継続支援	6人	3人
	チーム員会議開催回数	4回	11回
カフェ	開催数	8回	7回
	参加者数	61人	89人
家族会	開催数	4回	5回
	参加者数	43人	67人
ケア向上	開催数	4回	3回
	参加者数	82人	103人
RUN 伴 参加者数		97人	113人

○ 生活支援体制整備事業

- ・福祉関係者をはじめ、多様な団体等を構成員とし、市民主体による地域の支え合い体制づくりを推進していくための「稚内市生活支援・介護予防サポート推進検討会(全市)」を2回開催した。
また、介護予防・生活支援サービスに関する資源開発、関係者間の調整を行う全市及び日常生活圏域の「生活支援コーディネーター」を中心に、2地区において地域検討会を開催し、地域の支え合いの体制づくりについて話し合った。

○ 在宅医療・介護連携推進事業

- ・市内の医療・介護の関係機関・関係団体などと協力して、在宅医療・介護の連携を推進するため、以下の活動を実施した。

[平成30年度事業実績]

1. 課題抽出・対応策検討のための会議開催

- ・在宅医療・介護連携推進検討会(てっぺんの会)開催 5回 (悪天候により1回中止)

2. 地域の医療・介護の資源把握 及び 関係者間の情報共有の支援

3. 医療・介護関係者の連携推進

- ・多職種研修会開催 3回 参加者延 206名

4. 住民への普及啓発

- ・市民講演会開催「在宅医が語る 幸せな生き方、穏やかな逝き方」参加者 121名

5. 在宅医療・介護連携相談窓口設置

医療や介護の従事者からの在宅医療と介護連携に関する相談や、市民からの在宅療養に関する相談に対する窓口設置

		平成29年度	平成30年度
相談件数		9件	37件
相談元	医療	7件	26件
	介護	2件	1件
	家族等	0件	10件

6. 管内市町村連携の推進

- ・管内市町村の広域連携意見交換会出席
- ・基幹病院との連携や連携ツールについて意見交換
- ・当市が作成し運用している情報提供書を管内包括にて試用開始

○ 認知症サポーター等養成事業

事業名	平成29年度	平成30年度
認知症サポーター養成講座	448人 (累計2,955人)	506人 (累計3,461人)
認知症サポーター ステップアップ養成講座	13人 (累計29人)	32人 (累計61人)

○ 認知症高齢者等見守り・SOS ネットワーク事業 ※新規

- ・ 事前登録制の運用を導入し、行方不明になった認知症高齢者等を早期発見・保護及び行方不明を予防するための地域の見守り体制の構築を開始した。

	平成30年度
ネットワーク推進会議開催	1回
事前登録件数	7件
ネットワーク稼働回数	2回

○ 介護予防ケアマネジメント

事業名	平成29年度	平成30年度
介護予防支援事業 (要支援者の介護予防プラン報酬請求件数)	2,859人	1,921人
介護予防ケアマネジメント (要支援者及び事業対象者の介護予防プラン報酬請求件数)	873人	2,074人

③ 障害者福祉の推進

〈119ページ〉

○ 障害者自立支援給付等事業

区分		延べ利用者数	備考
介護給付費	在宅訪問系	458人	障害福祉サービス受給者証交付 377人(年度末) 〔障害支援区分調査 100人〕 〔介護給付等支給審査 100人〕
	在宅通所系	2,299人	
	施設入所・入居	987人	
	計画相談	451人	
訓練等給付費	自立・就労支援	1,968人	児童通所サービス受給者証交付 90人(年度末)
	共同生活援助	1,135人	
自立支援医療費	更生医療 (18歳以上)	2,419人	
	育成医療 (18歳未満)	58人	
補装具給付費		83人	

○ 地域生活支援事業

区分(主なもの)	延べ利用者数	備考
日常生活用具	329人	ストマ、紙おむつ 956月給付
コミュニケーション支援	33人	奉仕員(手話・要約筆記)派遣
地域活動支援	4,425人	障害者地域活動支援センター 1か所
相談支援	1,151人	障害者相談支援事業所 3か所
身体障害者福祉タクシー	870人	

○ 障害者支援施設運営費補助事業 ※新規

- ・ 稚内はまなす学園の運営に要するマイクロバス購入費用に対し、補助金を支給した。
市補助額 4,000,000 円

④ 暮らしを支える諸制度の運用 <117・119・121・127・129・231・233 ページ>

○ 国民健康保険事業

- ・ 特定健康診査 1,156 件 (受診率 19.3%) (昨年度 1,211 件 (受診率 19.3%))
- ・ 特定保健指導 73 件 (昨年度 61 件)
- ・ 人間ドック検診助成 128 件 (昨年度 133 件)
- ・ がん検診等助成 3,756 人 (昨年度 4,395 人)
- ・ インフルエンザ予防接種助成 1,245 件 (昨年度 1,188 件)
- ・ 肺炎球菌予防接種助成 266 件 (昨年度 224 件)

○ 後期高齢者医療事業

- ・ 各種申請の受付・相談及び保険料の徴収を行った。
被保険者数 75 歳未満 185 人
75 歳以上 5,224 人

○ 重度心身障害者医療費助成事業

		対象者数	助成件数	
			入院	その他
平成 29 年度	65 歳未満	315 人	252 件	6,726 件
	65 歳以上	497 人	705 件	8,153 件
平成 30 年度	65 歳未満	316 人	245 件	6,542 件
	65 歳以上	506 人	668 件	7,701 件

○ 特別障害者手当等給付事業

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度
特別障害者手当	304 人	316 人
障害児福祉手当	170 人	149 人
福祉手当	12 人	8 人

○ 福祉灯油支給事業

- ・ 低所得の障がい者、ひとり親世帯等に対して灯油の購入費を一部助成 (299 世帯)

○ 生活保護扶助事務

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度
被保護世帯数	628 世帯	618 世帯
被保護人員数	787 人	777 人
保 護 率	22.6‰	22.7‰
面接相談件数	145 件	120 件

○ 特定疾患患者援護事業

- ・ 特定疾患患者について、稚内市以外の専門医療機関への治療通院に要した費用(交通費及び宿泊費)の一部助成を行った。

実績 66 人(375 件) (昨年度 75 人(370 件))

分野3 環境・生活

「自然と共存し、安全・安心に暮らせるまちを目指して」

(1) 安心して暮らせるまちづくり

① 消費生活の向上

〈101・103 ページ〉

- 消費生活安定事業
 - ・ 消費者被害未然防止のための啓発活動(消費生活展、消費生活セミナー、町内会敬老会訪問等)
 - ・ 連絡会ニュースの発行(年4回)

- 消費者センター運営事業
 - ・ 消費生活相談業務の広域対応 管内相談件数 201件、うち稚内市 151件
(昨年度 管内相談件数 193件、うち稚内市 143件)

- 物価・量目調査事業
 - ・ 物価調査 ～ 調査員:稚内市消費生活モニター 6人
生活関連物資(47品目)の価格調査を毎月1回実施
 - ・ 量目調査 ～ 調査員:稚内市消費生活モニター 6人
食料品(調査品目:夏6品目、冬7品目)を購入し、量目調査を年2回実施

② 交通安全対策の推進

〈99・155 ページ〉

- 交通安全対策事業
 - ・ 一般交通安全指導員 16人

事業内容	出動延べ回数	
	平成 29年度	平成 30年度
春秋の全国交通安全運動街頭指導	134回	131回
その他の運動(街頭啓発、パトライト作戦等)	73回	69回
各種行事交通整理	43回	40回

- ・ 学校交通安全指導員 11人
配置校:稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、稚内港小学校、潮見が丘小学校
(市内5小学校)

- 交通安全啓発資材(夜光反射材等)の購入

事業内容	区分	平成 29 年度	平成 30 年度
交通安全教室・講習会 (幼児～高齢者)	開催回数	12 回	12 回
	参加人数	1,317 人	1,376 人
交通安全大会	開催回数	2 回	2 回
	参加人数	250 人	240 人

○ 道路橋梁維持管理事業(道路交通安全施設の整備)

- 区画線整備 20.4km
- カーブミラー設置 2 基
- ガードケーブル設置 1 箇所
- ガードレール設置 3 箇所
- 砂箱設置 1 箇所
- 警戒標識設置 2 箇所
- 橋梁高欄補修 2 箇所

③ 防犯対策の推進

〈101 ページ〉

○ 防犯活動推進事業

- 稚内市暴力追放運動街頭啓発 3 回実施 (北門神社例大祭 ほか)
- 青色防犯パトロール実施回数 延べ 1,152 回 (昨年度 1,377 回)

④ 消防・救急体制の充実

〈165 ページ〉

○ 消防施設等の整備

- 小型動力ポンプ付積載車購入 1 台(第 11 分団 富磯地区)
- 高圧ガス充填設備取替工事
- 消火栓 取替 1 基(緑 6) 移設 1 基(緑 3)

(2) 暮らしを支える生活環境づくり

① 快適な冬の暮らしの創造

〈157 ページ〉

○ 除雪機械等整備事業

- 車両購入 除雪車(除雪グレーダ) 1 台

○ 除雪対策管理事業

- ・ 除排雪業務委託

除雪回数 13 回

除雪延長(市内 192.5km、郡部 140.3km)

- ・ 融雪剤・砂散布業務委託
- ・ スノーポール設置、撤去業務委託(設置数 1,768 本、防雪柵 1,781m)
- ・ 歩道柵設置、撤去業務委託(転落防止柵 774m等)
- ・ ロードヒーティング維持管理業務委託 11 箇所
- ・ 上猿払清浜線除雪業務委託(北海道受託)
- ・ 融雪剤散布機設置、撤去業務委託 2 箇所

② 良好な生活環境の確保

〈133・137 ページ〉

○ 公衆浴場確保対策事業費補助事業

- ・ 稚内市公衆浴場確保対策事業費補助金

住民の保健衛生上不可欠である公衆浴場の廃業を防止し、利用の機会を確保するため、市内1浴場に対し、事業費の補助を行った。

- ・ 稚内市公衆浴場設備整備費補助金

公衆衛生上必要な公衆浴場を確保し、かつ公衆浴場の衛生水準の向上と省エネルギーの推進を図るため、必要な設備の整備を行う市内1浴場に対し、整備費の補助を行った。

○ 火葬場管理運営事業

- ・ 火葬場使用実績：682 件（昨年度：675 件）
- ・ 火葬炉改修工事

○ 公害防止対策事業

- ・ 自動車の道路交通騒音測定を 3 箇所で行った。
地域住民の生活環境を著しく損なう騒音は確認されなかった。

○ 不法投棄防止対策事業

- ・ 不法投棄防止対策として、監視員 2 人を雇用し、稚内市管内一円パトロールを実施
廃タイヤ・廃バッテリー・廃家電製品等 0.9tを回収（昨年度 1.5t回収）
- ・ 不法投棄防止啓発看板の設置
- ・ 清掃活動「クリーンアップわっかない」の推進

町内会クリーン作戦(各町内会一斉) 春: 35 町内会 2,095 人 秋:7 町内会 282 人
声問海岸クリーン作戦 63 団体 380 人が参加 約 1.6t のごみを回収

- し尿処理事業、浄化槽汚泥処理事業
 - ・ し尿及び浄化槽汚泥を下水終末処理場で下水汚泥と共同処理を行った。
し尿処理量 1,658 件 783.3kl/年 浄化槽汚泥処理量 1,255 件 3,018.5kl/年

(3) 環境問題への積極的な取組

① 再生可能エネルギーの利活用

〈107 ページ〉

- 太陽光発電施設維持管理事業
 - ・ 次世代エネルギーパーク拠点施設として、稚内メガソーラー発電所で発電した電力を、隣接する大沼球場と道立宗谷ふれあい公園へ供給し、再生可能エネルギーの利活用を図った。

- 新・省エネルギー推進事業
 - ・ 小型風力発電設備等の設置及び運用の基準に関する条例の一部改正。
小型風力発電設備に関する昨今の状況変化等を踏まえ、平成 29 年 12 月に制定された「小型風力発電設備等の設置及び運用の基準に関する条例」の一部改正を行った。
一部改正では、規制対象を拡大したほか、道路からの離隔距離、柵、塀の要件等について所要の改正を行った。
 - ・ バイオマス産業都市構想の策定 ※新規
本市におけるバイオマス資源の利活用に関する方向性を定めた、「バイオマス産業都市構想」を策定し、平成 30 年 10 月にバイオマス産業都市として国に選定された。
計画期間 平成 30 年度～令和 9 年度
目指すべき将来像 ①低炭素社会の実現、②循環型社会の形成、③生活環境の保全、
④自然環境の保全、⑤人口減少の克服

- 再生可能エネルギー地産地消モデル構築事業

目的 稚内市が所有する風力発電設備で発電した電気を、電力会社の送電網を活用し、遠隔地にある複数の公共施設で最適に利用する仕組みの構築・運用を目指す。

また、産業振興や雇用の創出を目指すために、地域にあるエネルギーを活用した「地域エネルギー会社」の創設を検討する。

実施期間 平成 29 年度～令和 3 年度

平成 30 年度実績

 - ・ 市内公共施設 18 か所にエネルギー使用状況を把握・管理するシステム(EMS)を設置し、電力需要の計測・解析を行った。
 - ・ 再生可能エネルギーの地産地消や水素の利活用についての検討委員会を設置し、検討を行った。
 - ・ 地域エネルギー会社の設立に向け、基本構想、事業性評価、マスタープランの策定を行うとともに、水素活用に係る基本構想、事業性評価、マスタープランの策定を行った。

② 循環型社会の形成

〈135 ページ〉

○ 一般廃棄物収集事業

- 一般廃棄物の収集量 9,133t (昨年度 9,532t)

(家庭系収集ごみ: 5,770t、大型収集ごみ: 21t、資源物収集: 3,342t)

[廃棄物処分場埋立て状況]

	平成 29 年度	平成 30 年度
一般廃棄物	12,053t	12,354t
うち家庭系	5,670t	5,622t
うち事業系	5,110t	5,242t
その他一般廃棄物	1,273t	1,490t
産業廃棄物(合せ処理分)	1,307t	1,061t
埋立て処理合計	13,360t	13,415t

○ 生ごみ中間処理施設管理運営事業

- 稚内市バイオエネルギーセンター(生ごみ中間処理施設)において、生ごみ等の中間処理により、ごみの減容化を図り、さらに処理過程で発生するバイオガス(メタンガス)のエネルギーとしての活用や、最終残渣を肥料とするなど、有効活用を図った。

[稚内市バイオエネルギーセンター処理状況]

	平成 29 年度	平成 30 年度
投入量	4,394t	4,403t
生ごみ	1,647t	1,621t
下水道汚泥	2,362t	2,350t
その他(水産残渣、紙、廃食用油)	385t	432t
処理不適物	431t	410t
実質処理量	3,963t	3,993t
残渣排出量(減容率)	742t (81.3%)	640t (84.0%)
発生ガス量(※)	556,562N m ³	511,876N m ³
ガス回収率(※)	140N m ³ /t	128N m ³ /t

※ ガス量 50%換算値

○ 廃棄物処理施設建設事業

- ・現在の一般廃棄物最終処分場が令和2年11月頃に埋め立てが満了となる見込みであることから、設計、建設、維持管理及び運営について一体的に行うPFI事業として、新たな一般廃棄物最終処分場の整備を進めている。

設計・建設期間：平成30年1月～令和2年11月

埋立期間：令和2年12月～令和12年11月

- ・一般廃棄物最終処分場整備・運営事業建設モニタリング業務委託

○ リサイクルセンター整備事業 ※新規

現在のリサイクルセンターは供用開始から20年が経過し老朽化が進んでいることから、新しいリサイクルセンター施設の整備に向け基本設計に着手した。

- ・リサイクルセンター基本設計業務委託

○ ごみ減量化対策事業

- ・ごみ総排出量 16,682t (昨年度 16,587t)
- ・一人一日当たりごみ排出量 1,331g/人・日 (昨年度 1,299g/人・日)
- ・小中学校、町内会等の資源物の集団回収の促進を目的として資源物集団回収奨励金制度を実施した。
登録団体数 15団体(昨年度 15団体)
回収量 310.6t(昨年度 317.3t)

○ 分別収集事業

- ・資源化量 3,609t (昨年度 3,781t)
資源物処理量：3,342t(古紙類:2,224t、ビン類:296t、缶類:142t、ペットボトル 169t、古衣類:39t、
容器包装プラ 326t、その他 146t)
生ごみメタン資源化量：267t(メタン化量: 173t、堆肥化量: 94t)
- ・リサイクル率 21.6% (昨年度 22.8%)

③ 自然環境の保全と共存

〈145 ページ〉

○ 鳥獣被害防止対策事業

- ・エゾシカ捕獲・管理(被害防止及び数の調整) 811頭 (昨年度 852頭)
- ・市に対し捕獲の許可申請があった件数 70件(道許可及び市許可) (昨年度 65件)
- ・カラスの巣撤去出動回数 82回(市職員及び委託業者) (昨年度 97回)

分野4 都市基盤

「次世代に向けた住みよいまちを目指して」

(1) 公共交通を充実させたまちづくり

① 総合的な交通体系の構築

〈97・99・107 ページ〉

○ 宗谷本線活性化推進事業 ※新規

- ・ 宗谷線特急列車車内での特産品販売

稚内市、稚内商工会議所、稚内観光物産協会合同で特急列車の乗客に対して、稚内ブランドなどの特産品を販売した。

実施日：平成30年6月16日(土)、7月14日(土)、8月18日(土)

- ・ JR利用促進市民ツアー

市民のJR利用促進及びマイレール意識の醸成を図ることを目的とし、旭川駅や旭川運転所の見学を取り入れた市民向けのツアーを実施した。

実施日：平成30年9月4日(火)～5日(水)

参加者数：15人

- ・ JR利用促進企画 ちよい旅ウォーキング

稚内駅から豊富駅までをJRを利用して移動後、豊富温泉までウォーキングの実施や宗谷本線の歴史について学ぶ機会を設けた。

実施日：平成30年10月28日(日)

参加者数：31人

- ・ 北海道観光列車旅行商品造成検討事業への協力

観光列車“復興クリスマストレイン”車内での観光PRや稚内駅到着時における出迎え、記念品の贈呈を行った。

実施日：平成30年12月24日(月)

○ 稚内市地域公共交通活性化協議会補助事業

- ・ 天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシーの運行 利用者数4,310人（昨年度5,037人）
- ・ 宗谷岬空港線バスの運行

平成30年度

期 間 平成30年6月16日から9月15日(92日間)

利用者数 1,021人

平成29年度

期 間 平成29年6月16日から9月15日(92日間)

利用者数 875人

- ・ 稚内市地域公共交通活性化協議会の開催 4回

- 市内生活交通路線維持事業
4 路線:利用者数 311,862 人

- 天北線生活交通路線維持事業
6 路線:利用者数 111,599 人

② 都市間交通の基盤整備

〈161・163 ページ〉

- 稚内港ふ頭保安管理事業
 - ・ 中央ふ頭、末広ふ頭、天北1号ふ頭、天北2号ふ頭の SOLAS 条約による制限区域内の 24 時間体制警備

- 稚内港改修国直轄事業
〔総事業費 190,100 千円 (うち、市負担金 34,140 千円)〕

事業箇所	事業概要
北地区	護岸(防波)(北)(改良) 一式
末広地区	岸壁(-12.0m)改良 付帯施設一式
本港地区	航路浚渫一式

- 宗谷港改修国直轄事業〔総事業費 330,000 千円 (うち、市負担金 93,511 千円)〕

事業箇所	事業概要
本港地区	防波堤(北外) L=55m 物揚場(-2.5m)(東船溜) L=121m

- 稚内港改修国庫補助事業

事業箇所	事業概要
港地区	物揚場 ブロック製作一式

- 宗谷港改修国庫補助事業

事業箇所	事業概要
本港地区	上架施設基礎 L=27m

- 稚内港改修単独事業

事業箇所	事業概要
港地区	第一副港船揚場基線補修 一式

- 稚内空港整備国直轄事業〔総事業費 688,143 千円 (うち、市負担金 66,652 千円)〕

事業箇所	事業概要
稚内空港	用地造成、滑走路改良、照明施設

○ 海岸保全国庫補助事業

事業箇所	事業概要
潮見地区	護岸改良 L=48m

(2) 災害に強いまちづくり

〈107・109 ページ〉

① 防災対策の強化

○ 災害対策事業

[主な備蓄品の平成31年3月31日現在の備蓄数合計]

◇災害備蓄品

備蓄品	備蓄数	うち平成30年度購入
毛布	4,357 枚	400 枚
コンパクトブランケット	4,440 枚	
敷マット	200 枚	
防災マット	2,550 枚	1,000 枚
アルファ米(備蓄食糧)	1,200 食	
カセットガスストーブ	300 台	
カセットガスコンロ	50 台	
カセットガスボンベ	1,583 本	
照明器具(投光器)	9 台	
発電機 1.6kva	7 台	
発電機 2.5kva	1 台	
コードリール	8 台	
ジェットヒーター	1 台	
ペットケージ	8 個	
ガソリン携行缶	8 個	
フラットコード	8 本	

◇福祉避難所 備蓄品

備蓄品	備蓄数	うち平成30年度購入
毛布	40 枚	40 枚
飲料水(500ml)	1,680 本	1,680 本
アルファ米(備蓄食料)	900 食	900 食
寝具一式	40 組	40 組
折畳みベッド	40 台	40 台
パーテーション	40 枚	40 枚

- ・避難所等看板の整備

平成 30 年度に避難所等看板を新規設置 10 箇所(避難所:5 箇所、避難場所 5 箇所)

避難 所:東地区活動拠点センター、南地区活動拠点センター、富岡・はまなす地区活動拠点センター、
図書館、港ふれあいセンター

避難場所:宝来地区活動拠点センター、稚内公園、みどり公園、北コミュニティセンター、宗谷岬牧場

※計 65 箇所(避難 所:22 箇所、避難場所:43 箇所) 4 か年で整備予定(ピクトグラム化)

- ・土のうステーション等の設置

平成 28 年 9 月に発生した大雨災害をきっかけに設置された、稚内市公共土木施設に係る大雨対策検討
会議の中で提言された土のうステーション等を市内 27 か所に設置した。

災害時土のう提供所のうち、エビスーの沢川(恵比須 1 丁目 2 番 2 号地先)、港五会館(港 5 丁目)、末広緑
地公園(末広 1 丁目)、大黒 2 町内会館(大黒 2 丁目)、萩見 3 広場(萩見 3 丁目)の 5 か所を土のうステーシ
ョンに変更した。

土のうステーション等設置状況

〔土のうステーション 10 か所(昨年度 5 か所)〕

〔災害時土のう提供所 15 か所(昨年度 20 か所)〕

〔災害時特設土のう提供所 2 か所(昨年度 2 か所)〕

- ・防災啓発

防災講演等を開催 19 件(うち、防災講演 15 件、防災訓練 3 件、防災講演+防災訓練 1 件)

- 自主防災組織育成事業

- ・平成 31 年 3 月 31 日現在の自主防災組織

大黒 2、大黒 3、白樺、潮見第二、ひばり、声間、こまどり、緑ヶ丘 合計 8 団体

- ・自主防災組織が実施した防災訓練

平成 30 年 6 月 3 日 緑ヶ丘町内会自主防災組織(内容:防災講和)【参加者:35 名】

平成 30 年 7 月 28 日 ひばり防災会(内容:避難所設営訓練)【参加者:45 名】

平成 30 年 8 月 26 日 こまどり町内会自主防災組織(内容:クロスロードゲーム)【参加者:22 名】

平成 30 年 9 月 1 日 こまどり町内会自主防災組織(内容:避難訓練)【参加者:60 名】

平成 30 年 10 月 14 日 ひばり防災会(防災訓練及び防災講和)【参加者:60 名】

平成 30 年 10 月 21 日 緑ヶ丘町内会自主防災組織(防災講和)【参加者:21 名】

- 平成30年度 内閣府主催の「地震・津波防災訓練」の実施

「津波防災の日(11月5日)」及び「世界津波の日(同)」に合わせ、地震・津波対策への理解と関心を深め、地域防災力の向上を図るため、内閣府・北海道・稚内市の共催で「平成30年度 地震・津波防災訓練」を実施した。

開催日時 平成30年10月28日(日) 9:00~12:30

訓練場所 声問地域(声問小学校、ホテルめぐま)

参加者 約300名(声問地域住民他各自主防組織 230名、関係機関70名)

訓練内容 緊急告知防災ラジオへの割り込み放送を行い訓練開始、全市民を対象に「シェイクアウト訓練」、声問地区住民を対象に津波避難訓練、情報伝達訓練、講話、参加者全員での避難所開設・運営訓練、物資配給訓練を実施。

- 地域防災における意見交換会

自主防災組織をはじめ、各町内会や企業等が参加していただき各地域での防災活動の取組みを情報共有することにより、一人ひとりの防災意識の向上を図り、更なる防災体制の強化を図る目的として意見交換会を開催した。

開催日時 平成31年2月20日(水)18:30~20:00 稚内総合文化センター 小ホール

参加者等 32団体 75名(自主防災組織:8組織、町内会:12町内、企業・団体:12団体)

○ 防災情報収集・伝達事務

- 防災情報メール配信サービス

登録者に対して災害等に関する情報をメールで配信するもの。

[配信情報]

地震・津波・土砂災害等に関する気象情報、避難に関する情報、災害等に関連して発生した道路通行止め情報、小中学校休校情報、バス・タクシー・JR 運休情報等

[登録件数] 521件(累計:3,409件)

[配信件数] 80件

内訳

気象警報	道路通行止め	公共交通機関	臨時休校情報	その他			
				竜巻注意	停電関連	訓練・テスト	公共施設関連
21件	14件	7件	4件	4件	23件	5件	2件

○ 緊急告知ラジオ等整備事業(平成 29 年度からの繰越事業)

- ・ 難聴地域解消に向けたラジオ中継局整備

〔難聴解消手法の確定〕

平成 28 年度実施の電波調査結果を踏まえ、宗谷岬地区及び東浦地区それぞれにおける難聴解消手法と事業費を確定し、「無線システム普及支援事業費等補助金」の交付決定を受けた。(補助率 2/3)

- ・ 宗谷岬中継局整備工事 28,836 千円 (国庫補助 19,224 千円)

- ・ 東浦中継局整備工事 17,766 千円 (国庫補助 11,844 千円)

合 計 46,602 千円 (国庫補助 31,068 千円)

- ・ 試験電波発射日 平成 30 年 10 月 29 日(月)から

- ・ 中継局開局日 平成 31 年 2 月 15 日(金)

○ 稚内市業務継続計画(BCP)の策定

- ・ 市役所は大規模災害発生時に、災害対応の主体として重要な役割を担うことから、庁舎、職員が被災し、人物、情報等に制約を受けた場合でも適切に業務を行い、市民の生命・身体・財産を守り、市の機能を復旧・復興することを目的として策定。

周知等 平成 31 年 2 月 20 日「地域防災における意見交換会」にて市民・企業等へ周知。

今後、本計画に基づき災害時に業務継続ができるよう訓練を重ね、都度、計画を修正する。

(3) 調和のとれた持続可能なまちづくり

① 中心市街地の再生

〈149・159 ページ〉

○ 地域交流センター管理運営事業

- ・ 利用状況 全体利用者数 1,000,154 人 (昨年度 892,766 人)

アトリウム・市民活動室利用団体数 195 団体 (昨年度 229 団体)

中心市街地活性化事業(自主事業) 22 回実施 (昨年度 24 回実施)

○ まちなか居住等推進事業

- ・ 稚内市まちなか居住ポータルサイトの運営

② 計画的な土地利用の推進

〈159 ページ〉

○ 空き家対策事業

- ・ 老朽危険空き家除却費補助金実績 3 件 1,367,000 円 (昨年度 1 件 500,000 円)

- ・ 稚内市空家等対策協議会の設置

③ 生活を支える社会基盤整備の推進

〈105・135・155・157・159 ページ〉

○ 地域情報通信基盤維持管理事業

- ・ 通信事業者によるブロードバンド未整備地区での高速インターネット利用環境実現のために整備した光ケーブル等設備の維持管理を行った。

【整備対象地区】

声問地区、西浜地区、恵北地区、樺岡地区、沼川地区、曲渕地区、川西地区、川南地区、開進地区、豊別地区、上声問地区、更喜苦内地区、天興地区、曙地区、抜海地区、クトネベツ地区、勇知地区、オネトマナイ地区、富士見地区、宗谷地区、増幌地区、清浜地区、富磯地区、宗谷岬地区、東浦地区、市街地一部

整備地域世帯数	加入数(H30)	総延長距離数
3,423 件	1,422 件(加入率:41.5%)	234 km

○ 街路灯管理事業

- ・ 公共灯 LED 化整備工事【土木課管理分】 91 基
緑・富岡環状線 30 基、その他路線 61 基
整備数(累計) 616/616 灯
LED 化率(累計) 100%
- ・ 街路灯設置助成金【防犯灯】 429 基(うち、LED化分は 427 基)
各町内会に設置費の 2/3 以内を助成
申請町内会件数 40 町内会
- ・ 街路灯電気料助成金【防犯灯】 3,569 灯
各町内会に電気料の 8/10 以内を助成
申請町内会件数 65 町内会

○ 道路ストック整備事業(社会資本整備総合交付金事業)

- ・ 市内幹線道路舗装整備工事
本通南線(L=255m)

○ 道路・河川大雨対策事業

- ・ 市内管路浚渫業務委託

○ 副港通道路整備事業(社会資本整備総合交付金事業)

- ・ 副港通道路整備工事(L=58m)
- ・ 副港通道路整備付帯工事

- 単独地方道路整備事業
 - ・ 朝日 8 条通道道路整備工事(L=97m)
 - ・ 恵比須 3 条通道道路整備工事(L=97m)
 - ・ クサンル川護岸整備工事(L=32m)
 - ・ ひばりヶ丘 3 条通道道路整備工事(L=50m)
 - ・ 緑 12 号通側溝整備工事(L=171m)
 - ・ 恵比須 11 号通道道路整備工事(L=55m)

- 橋梁長寿命化整備事業(社会資本整備総合交付金事業)
 - ・ 橋梁長寿命化補修工事
 - サラキトマナイ 4 号橋補修工事(主桁塗装塗り替え一式)
 - 若草大橋補修工事(伸縮装置取替 2 基)
 - ・ 橋梁長寿命化補修付帯工事
 - ・ 橋梁定期点検業務負担金 点検数 45 橋

- 花と緑のまちづくり事業
 - ・ 花のボランティア事業 参加者数 50 人 (昨年度 40 人)

- 都市公園等維持管理運営事業
 - ・ 公園維持補修
 - ちびっこ広場維持補修、市内各公園施設維持補修
 - ・ 公園維持管理
 - 指定管理者制度等の業務委託を活用した維持管理 (都市公園 19 箇所、その他 2 箇所)

- 街区公園等整備事業
 - ・ トイレ等の改修(メグマ沼自然公園)

- 稚内公園整備事業(社会資本整備総合交付金事業)
 - ・ 実施設計業務委託

- みどり公園整備事業(社会資本整備総合交付金事業)
 - ・ 耐震補強実施設計業務委託
 - ・ 園路広場、運動施設(カーリング場)の整備

- 緑・富岡環状通街路整備事業(社会資本整備総合交付金事業)
 - ・ 家屋調査業務委託
 - ・ 道路拡幅・改良工事(L=257m、W=19m)
 - ・ 街路整備付帯工事

- 市営住宅個別改善事業(社会資本整備総合交付金事業)
 - ・ 長寿命化に関する実施設計 (配管改修)
 - 緑ヶ丘団地(1棟24戸)
 - ・ 長寿命化に関する工事
 - 【配管改修】 緑ヶ丘団地 外1団地(2棟32戸)
 - 【建具改修】 緑ヶ丘団地 外1団地(2棟32戸)
 - 【屋上防水】 富士見団地(1棟18戸)
 - 【屋根・外壁改修】 末広団地(1棟24戸)

- 浄水場等整備事業
 - ・ 水道施設水位計更新工事
 - 北辰ダム・沼川配水池水位計更新 5台
 - ・ 水道施設流量計更新工事
 - 富士見・クトネベツ流量計更新 2台

- 導水・配水施設整備事業
 - ・ 導水管の新設(単独事業) L=1,999m
 - ・ 配水管の改良(単独事業) L=39m
 - ・ 配水管の撤去(補償事業) L=51m
 - ・ 北海道生活基盤施設耐震化等事業(道補助事業)
 - 老朽管更新事業(導水管) L=827m
 - 重要給水施設配水管事業 L=223m
 - 重要給水施設配水管事業(旧管撤去) L=400m

- 下水道施設整備事業
 - ・ 終末処理場最初沈殿池設備更新機械設備工事 (汚泥かき寄せ機ほか)
 - ・ 終末処理場最初沈殿池設備更新電気設備工事 (コントローラ盤、補助継電気盤、現場操作盤ほか)

- 雨水管渠整備事業
 - ・ 公共下水道雨水管渠布設工事 (HP φ 600、φ 450 160mほか)

- 水洗化普及促進事業
 - ・ 水洗便所等改造資金貸付実績 なし (昨年度 3件 738,000円)
 - ・ 合併処理浄化槽設置助成金実績 10件 7,550,000円 (昨年度 5件 3,950,000円)
 - ※ 水洗化率 93.4%

分野5 産業振興

「自然と共生した活力ある産業が躍動するまちを目指して」

(1) 自然を活用した産業の体質強化

① 安全で良質な水産物の供給

〈147 ページ〉

○ 漁場整備事業費補助事業

- 沿岸地域における豊かな水産資源の確保及び漁場環境の維持・向上を目的とした漁場整備事業のうち、藻場再生に対し補助金を交付した。

魚粕 18t散布

総事業費 3,692,880円 市補助金額 1,158,266円

○ 水産加工施設整備事業費補助事業

- 国外輸出の促進のため、輸出先の HACCP 基準を満たす施設整備や保健所による衛生管理の評価基準を満たし、かつ、水産加工品の品質向上を目指した施設整備に対し補助金を交付した。

X線機能付きホタテ自動計量機、自動計量包装機

総事業費 39,400,000円 市補助金額 9,850,000円

○ 船舶上架施設整備事業

- 越冬上架の作業時間の短縮や従事者の安全性および身体的負担の軽減を図るため、船舶上架施設整備工事を実施した。

工事費 153,252千円 (うち 道補助金額 61,300千円)

○ 水産加工業振興助成事業

- 水産加工残滓を産業廃棄物処理事業者が収集し、又は運搬し、稚内市バイオエネルギーセンターで処理する場合に発生する経費に対し助成金を交付した。

利用者 12事業者

数量 162.47t

助成金 2,518,285円(1t当たり15,500円の助成)

○ 資源育成強化対策事業費補助事業

- 漁業資源増大、生産性向上を目指し、漁業者自らが行う資源育成事業及び調査試験事業で漁業振興を図る取組みに対し補助金を交付した。

稚ウニ放流 40万粒

総事業費 4,368,864円 市補助金額 2,024,400円

稚ナマコ種苗生産・放流 65万粒

総事業費 234,267円 市補助金額 108,726円

ナマコ種苗生産 79万3千個、放流試験 36万9千個

総事業費 3,568,136円 市補助金額 1,400,000円

○ 水産資源増養殖実証試験・研究事業補助事業

- ・ 民間企業が独自に増養殖事業を行い、本市の水産資源の増大に繋がる増養殖手法を確立する取組みに対し補助金を交付した。

稚ナマコ種苗生産、中間育成、放流事業、成果報告会

総事業費 3,618,734円 市補助金額 800,000円

○ 沿岸漁業担い手育成事業費補助事業

- ・ 沿岸漁業の活性化を担う漁業を志す者又は漁業就業者の育成を図る取組みに対し補助金を交付した。
資格取得研修等 5名

総事業費 207,260円 市補助金額 99,130円

○ 水産振興制度資金支援事業

- ・ 稚内市漁業近代化資金利子補給金

	利子補給対象件数	資金借入承認額	利子補給金
平成29年度	106件	761,720千円	16,163千円
平成30年度	110件	851,750千円	11,644千円

- ・ 水産加工経営安定化資金利子補給金

	利子補給対象件数	資金借入承認額	利子補給金
平成29年度	13件	115,000千円	1,880千円
平成30年度	13件	新規申請なし	1,595千円

- ・ 稚内市ホタテガイ災害対応資金利子補給金

	利子補給対象件数	資金借入承認額	利子補給金
平成29年度	25件	80,000千円	2,752千円
平成30年度	24件	新規申請なし	2,118千円

- ・ 稚内市ホタテガイ災害対応資金保証料補給金

	保証料補給対象件数	資金借入承認額	保証料補給金
平成30年度	1件	3,000千円	45千円

○ 海獣類漁業被害防止対策事業費補助事業

- ・ トド及びアザランによる漁業被害の防止・軽減を図ることを目的として対策を実施する事業に対し補助金を交付した。(平成30年度から対象をトドにも拡充し、平成29年度までのアザラン被害防止対策事業費補助事業から名称変更)

総事業費 1,747,917円 市補助金額 855,946円

② 安全・安心な農畜産物の供給

〈141・143ページ〉

○ 稚内市グリーンパートナー推進協議会運営費補助事業

- ・ 農業後継者と独身女性との出会いの場を設定するなど、パートナーづくりと後継者の育成確保を図った。

① 最北 de 縁結びPARTY(稚内市グリーンパートナー推進協議会 単独事業)

酪農男性 4名 女性 4名(札幌在住)

② 2019 仮面キタコン 男性 20名(うち酪農男性 10名) 女性 17名

キタコン実行委員会、稚内市グリーンパートナー推進協議会との共催事業

③ 市外実施事業への参加

宗谷農村パートナー対策協議会主催事業への参加

(稚内市内酪農男性1名:札幌市)

北海道農業公社主催事業への参加(結婚相談員1名 事務局1名)

④ 酪農成年向けセミナー

「会話のキャッチボールで幸せをゲットする方法」

運営委員 4名 結婚相談員 1名 事務局 5名 酪農青年 8名 農業者 1名

他市町村関係者 5名

計 24名

○ 酪農ヘルパー事業費補助事業

	加入戸数	利用延日数	補助額
稚内農業協同組合	61戸	1,853.5日	8,300,000円
北宗谷農業協同組合沼川支所	58戸	1,817日	8,651,000円
合計	119戸	3,670.5日	16,951,000円

○ 農業関係利子補給金等事業

- ・ 農業経営基盤強化資金(経営改善措置の実施に必要な長期資金)に対する利子補給金

	件数	融資残高	利子補給額
稚内農業協同組合	13件	38,212,159円	130,947円
北宗谷農業協同組合沼川支所	15件	144,304,070円	505,391円
その他	1件	546,570,000円	1,419,356円
合計	29件	729,086,229円	2,055,694円

○ 新規就農者支援事業費補助事業

- ・ 経営自立補助金の支給 5人（昨年度 6人）
（年間賃借料の1/2相当額を5年間補助）
- ・ 経営安定補助金の支給 3人（昨年度 3人）
（施設等の固定資産税相当額を3年間補助）
- ・ 営農実習奨励金の支給 1人（昨年度 2人）
（営農実習開始時から1ヶ月10万円以内の額を2年以内の期間で補助）
- ・ 経営開始奨励金の支給 1人（昨年度 1人）
（経営開始時に一時奨励金(100万円)を支給）

○ 中山間地域等直接支払交付金事業

- ・ 農業の生産性、付加価値向上などによる農業収益の向上、耕作放棄地の防止及び農村の活性化を図ることを目的に、農業者に対して交付金を直接支払う制度

集 落 数	参加農家戸数	対 象 面 積	交 付 金 額
2	149 戸	123,844,541 m ²	185,766,811 円

○ 家畜自衛防疫事業

- ・ 牛の予防注射の費用の一部を助成

稚内農業協同組合	7,178 頭（うち補助対象 6,768 頭）
北宗谷農業協同組合沼川支所	8,621 頭（うち補助対象 8,571 頭）

○ 黒毛和牛導入資金利子補給金事業

- ・ 黒毛和牛導入資金を借り入れた農業者に対する利子補給金

	件 数	対象残高	利子補給額
稚内農業協同組合	1 件	800,000 円	20,000 円
合 計	1 件	800,000 円	20,000 円

○ 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

- ・ 地域の畜産の収益性の向上に資する施設及び当該施設と一体的な設備の整備に要する経費の一部を支援した。

事業実施者	施設概要	補助対象額	補助金額
稚内市クネベツ (株)farm K	牛舎建設工事 (家畜飼養管理施設・家畜飼養管理施設付帯設備・ 家畜排せつ物処理施設)	362,174,911 円 (工事費)	157,903,000 円

○ 農業基盤の整備〔道営事業・公社営事業〕

地区名	事業名（事業年度）	事業概要
稚内第2	道営草地整備事業 (平成26～令和元年度)	草地整備改良 826.0ha 草地造成改良 10.0ha 用排水施設整備 327.0ha
沼川	道営草地整備事業 (平成27～令和元年度)	草地整備改良 312.0ha 草地造成改良 7.5ha 用排水施設整備 43.0ha
沼川南 ※新規	道営草地整備事業 (平成30～令和4年度)	草地整備改良 501.0ha 草地造成改良 6.0ha 用排水施設整備 140.0ha
中増幌	道営農道整備事業 (平成26～令和2年度)	点検診断一式 農道修繕工(農道工) 2,887m 積雪対策工(防雪柵) 830m 積雪対策工(防雪切土) 180m
増幌	道営営農用水整備事業 (平成25～令和3年度)	送水ポンプ施設、配水管 L=18,305m 管理計装備一式
沼川第1	道営営農用水整備事業 (平成28～30年度)	機械設備一式 電気計装設備一式 薬品注入設備一式
勇知第2	道営営農用水整備事業 (平成28～30年度)	機械設備一式 電気計装設備一式 薬品注入設備一式

○ 大規模草地管理運営事業

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
育成牛	283,302頭	237,027頭	259,030頭
哺育牛	67,497頭	88,089頭	65,433頭
合計	350,799頭	325,116頭	324,463頭

③ 林業の振興

〈145 ページ〉

○ 未来につなぐ森づくり推進事業

- ・ 公共造林事業により実施した植林のうち、市が事業費の一部を補助した場合に道が市に補助する。
事業期間 平成23年度～令和2年度
循環利用タイプ 56.12ha

○ 市有林造林事業

- ・ 造 林：宗谷岬地区 4.80 ha (秋期造林 アカエゾマツ 7,680 本)
- ・ 下 刈：宗谷岬地区 38.00 ha
- ・ 保育間伐：峰岡地区 13.00 ha
- ・ 間 伐：川西地区 29.00 ha

○ 緑化推進事業

- ・ 無料苗木配布 ブルーベリー 400 本

○ 市民植樹祭事業

- ・ チシマザクラ 50 本、カバレンゲツツジ 50 本、アキグミ 100 本、アカエゾマツ 100 本

(2) 誇れる稚内ブランドの確立

① 食のブランド化の推進

〈99・149 ページ〉

○ ふるさと納税推進事業

- ・ ふるさと納税制度による本市への寄附促進と、地元特産品のPRや地元産業の活性化を図るため、平成 27 年 11 月より、ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」において、お礼品の贈呈を開始した。
- ・ ふるさと納税に係る寄附者とのコミュニケーションの機会の創出と、稚内市のPRを図るため、ふるさと納税イベントに参加した。

ふるさと納税秋祭 in 二子玉川ライズ (東京都)

- ・ 稚内に関わりを持つ人々との関係強化のために、ふるさと納税継続寄附者に対し暑中見舞いほかぎきを送付した。

〔寄附実績〕

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
寄附件数	60,808 件	90,879 件	69,321 件
寄附額	1,075,426,719 円	1,564,916,356 円	1,060,432,960 円

〔使途別〕

	項 目	件 数	寄 附 額
①	教育及び少子化対策に関する事業 (乳幼児医療費助成事業)	6,543 件	91,634,930 円
②	国内及び国際の交流に関する事業 (稚内市子ども芸能祭・南中ソーラン祭開催事業)	379 件	5,271,923 円
③	福祉及び医療に関する事業 (病院事業繰出事業:医師の勤務環境対策)	3,455 件	46,615,431 円
④	環境、新エネルギー及び省エネルギーに関する事業 (街路灯管理事業)	1,388 件	18,832,929 円
⑤	地場産業の振興に関する事業 (観光活性化促進事業)	3,117 件	42,896,929 円
⑥	文化及びスポーツの振興に関する事業 (温水プール水夢館管理運営事業)	624 件	9,637,430 円
⑦	その他市長が必要と認める事業 (ふるさと納税推進事業)	56,027 件	845,543,388 円
	合 計	71,533 件	1,060,432,960 円

※使途別件数については、複数項目に寄附が可能のため、寄附件数とは異なる。

※各項目内のカッコ書きは、寄附金の主な充当事業

○ 物産振興対策事業

- ・ 稚内産品の知名度向上と販路拡大を図るため、道内外物産展に積極的に参加した。
 ハッピーロード大山商店街「北海道稚内物産展」(東京都板橋区)
 北海道の物産と観光展 (仙台市、北九州市)
 さっぽろオータムフェスト 2018 (札幌市)→北海道胆振東部地震により中止
 北海道フェア in 代々木 (東京都)

○ 稚内ブランド推進事業

- ・ 「稚内ブランド推進協議会」への支援を行った。
 稚内ブランド総認定数:原材料 7 品、加工品 23 品、地域資源 4 点
 うち H30 認定数:加工品 6 品(うち再認定 5 品、新規 1 品)

(3) 地域経済を支える未来の芽を育成

① 商業の振興

〈149 ページ〉

○ 中小企業振興事業

- ・ 稚内市中小企業振興基本条例で定める基本理念・基本方針に基づき、中小企業振興助成金を交付した。

販路拡大支援事業助成金	15 社	2,060,553 円(昨年度 6 社 1,036,857 円)
【内訳】 特定展示会等出展事業	10 社	1,526,343 円(昨年度 3 社 367,832 円)
新商品開発等事業	5 社	534,210 円(昨年度 3 社 669,025 円)
新規創業者支援事業助成金	5 人	2,524,820 円(昨年度 5 人 2,750,000 円)
人材育成事業助成金	11 社(15 人)	369,750 円(昨年度 3 社(6 人) 142,761 円)
商店街活性化事業助成金	4 商店街	2,000,000 円(昨年度 3 商店街 1,500,000 円)

② 地域特性を活かした新産業の創出

〈149 ページ〉

○ 「わからない産業クラスター研究会」への支援

- ・ 会員数 35 人

○ IoT普及促進事業 ※新規

- ・ 平成 30 年 9 月に選定された地方版IoT推進ラボの枠組みを活用し、市内事業者に先端技術導入の機運醸成を図るとともに、これらの急速な進展に伴う変化に対応可能な経営基盤の強化を図ってもらうことを目的にIoT普及促進セミナーを開催した。

開催日等	平成 31 年 3 月 28 日(木) 稚内総合文化センター 小ホール
タイトル	IoT普及促進セミナー「身近に広がるIoT 稚内の未来を考えよう」
講演内容	(1) 「遊休資産を活用した新事業への挑戦と陸上養殖」 講師: (株)カタクラフーズ 代表取締役 猪股 和範氏 (2) 「生活の中の身近なIoT」 講師: 日本オラクル(株) クラウドプラットフォーム戦略統括 七尾 健太郎氏 (3) 「地方だからできる、面白いこと、新しいこと」 講師: No Maps 実行委員会 事務局 佐藤 みつひろ氏
参加者数	69 人
主催	稚内市IoT推進ラボ・わからない産業クラスター研究会・稚内市
協力	No Maps 実行委員会

③ 雇用・労働の安定と中小企業の経営支援

〈139・149 ページ〉

○ 総合勤労者会館管理運営事業

- ・ 総合勤労者会館、勤労青少年体育センターの利用状況

[利用実績]

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度
稚内市総合勤労者会館	30,874 人	29,521 人
稚内市勤労青少年体育センター	17,614 人	16,421 人

[サークル活動]

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度
勤労青少年ホーム	6 サークル	6 サークル
働く婦人の家	78 サークル	73 サークル

○ 高等学校卒業生就職支援事業

- ・ インターンシップ支援事業の実施 参加者数 265 人 (昨年度 269 人)
在学中に望ましい勤労観や職業観を育成するための就業体験の支援を行った。
- ・ 就職意識形成セミナーの実施 参加者数 43 人 (昨年度 48 人)
企業人を講師に就職や働くことの意義などを生徒に理解させ、自ら考えさせるためのセミナーを開催した。
- ・ 合同企業説明会の実施 参加者数 81 人 参加企業数 25 社 (昨年度 62 人)
地元求人企業の情報を提供し、企業に対する理解を深め、地元就職の促進を図った。

○ 地元就職率向上・Uターン意識向上事業 ※新規

- ・ 人口減少や有効求人倍率の全国的な上昇に伴う近年の労働者不足を鑑み、地元の中学生を対象に、より早いうちから地域の産業を知ってもらうとともに、将来的な就職の選択肢としての地域企業のPRを行い、より充実したインターンシップ、進学後の地元就職、Uターンの促進による将来的な労働力確保に繋げることを目的に地元企業PRフェアを開催した。

開催日等 平成 30 年 11 月 6 日(火) 稚内総合文化センター

タイトル わかる！働く！未来へつなぐジョブフェア 2018

参加者数 中学生 235 人(稚内中学校 36 人・稚内南中学校 47 人・稚内東中学校 68 人・
宗谷中学校 7 人・潮見が丘中学校 77 人)

企業 47 社

主 催 稚内商工会議所青年部・稚内市・稚内市教育委員会・稚内で働こう応援会議

○ イノベーション人材育成事業

- ・ 北海道を代表する企業経営者が起業や新たな取組みへの挑戦など、自らの経験を高校生に伝えることにより、北海道から多くの起業家とイノベーション人材が生まれる文化の醸成を図ることを目的にセミナーを開催した。

主 催 北海道経済産業局・小樽商科大学・稚内市・稚内地方職業訓練協会

講 師 株式会社クリエイティブオフィスキュー 代表取締役 伊藤 亜由美氏

開催日等 平成 30 年 11 月 19 日(火) 稚内高等学校 体育館

参加者数 158 人(稚内高等学校:商業科 1~3 年生 稚内大谷高等学校:総合コース 2 年生)

○ 制度資金支援事業

- ・ 稚内市中小企業特別融資貸付

厳しい経営状況の中、中小企業のニーズに応えるため、低利の融資を斡旋し、保証協会の保証料を助成する中小企業特別融資を実施した。

融資実績 1,649,652,000 円 204 件 (昨年度 1,567,196,000 円 192 件)

保証料補給実績 17,679,889 円 188 件 (昨年度 23,651,797 円 208 件)

○ 地域総合整備資金貸付事業 ※新規

- ・ 地方公共団体と民間金融機関等が共同で地域振興に資する民間事業活動等を支援し、もって活力と魅力ある地域づくりの推進に寄与するために、地域総合整備財団の支援を得て、民間事業者等の設備投資に係る無利子資金の貸付を行った。

対象事業 給油船造船事業

貸付金額 60,000,000 円

貸付期間 14 年 9 ヶ月

保証機関 稚内信用金庫

(4) 地域資源の再発見・世界への発信

① 観光を核とした産業振興

〈149・151・187 ページ〉

○ 観光振興事業

- ・ キタカラ内における観光案内所業務 利用者数 22,553 人 (昨年度 24,159 人)

- ・ 観光客動態調査

調査箇所 ノシャップ岬・宗谷岬・稚内公園

アンケートサンプル数 3,354 件

・ 観光入込客状況

	平成 29 年度	平成 30 年度
観光入込客数	520,800 人	503,400 人
宿泊客数	303,200 人	303,300 人
宿泊客延べ数	377,100 人泊	367,400 人泊
訪日外国人宿泊客延べ数	19,729 人泊	19,121 人泊

○ 誘致宣伝事業

・ 印刷物等の製作、各メディア等における広告・宣伝

	印刷物等の製作	各メディア等における広告・宣伝
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 稚内観光パンフレット (日本語版 80,000 部) (6 か国語 3,500 部) ○ 稚内観光ガイドブック (140,000 部) ○ 稚内観光ポスター (B1判、A2 判各 1,000 部) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道内向け旅行雑誌「北海道じゃらん」 ○ 全国向け旅行雑誌「北海道生活」 ○ 香港旅行雑誌「終極天書」 ○ タイ人向け訪日観光サイト「MARUMURA」「クオリティエクスプレス」 ○ インフルエンサー招請による情報発信 ○ 市ホームページ及び SNS (Facebook、Instagram) による情報発信

・ 外国人観光客誘致受入実行委員会補助金

事業主体 稚内外国人観光客誘致受入実行委員会

主な事業内容 ・香港、シンガポールにおいてプロモーション活動の実施
 ・飲食店の多言語メニューの整備促進

○ 観光活性化促進事業

・ 観光客誘致促進事業補助金

事業主体 わっかない観光活性化促進協議会

主な事業内容 ・既存航空路線とタイアップした旅行会社の商品造成販促、WEB を活用した広告宣伝、
 チャーター機内への稚内ブランド品提供など

・各イベントの実施

宗谷ふれあい公園スノーランド	来場者数 10,835 人 (昨年度 10,833 人)
稚内サハリン館 2019	来場者数 4,136 人 (昨年度 3,509 人)
初日の出 in てっぺん 2019	来場者数 2,230 人 (昨年度 2,300 人)
旧瀬戸邸冬季開館	来場者数 4,309 人 (昨年度 4,053 人)
ONSEN ガストロミーウォーキング	参加者数 155 人 ※新規

・ アートフェス開催事業委託

平成 30 年 8 月 25 日(土)、26 日(日)に開催予定であったが、悪天候のため両日中止となった。
 (昨年度 来場者数 約 6,000 人)

○ 合宿誘致推進事業費補助事業

- ・ 実績:6 種目 37 団体 延べ人数 4,333 人(昨年度 10 種目 41 団体 延べ人数 5,306 人)
- ・ 種目内訳:バスケットボール、バレーボール、硬式野球、卓球、アルペンスキー、フットサル

② サハリンとの経済交流の促進

〈153 ページ〉

○ 外国人研修生受入事業費補助事業

- ・ 受入人数 2 人 (水産加工業 1 人・建設業 1 人)
- ・ 事業主体 稚内商工会議所

○ 日ロ友好会館運営事業

[利用状況]

	平成 29 年度	平成 30 年度
日本人利用者数	773 人	627 人
ロシア人利用者数	168 人	187 人
合 計	941 人	814 人
会議室有料使用	58 件	58 件

○ 日ロ定期フェリー関係事業

- ・ インバウンド促進事業負担金 《地方創生推進交付金事業対象》

定期航路を利用して稚内を訪れるロシア人観光客の誘客を促進するため、ロシア人団体ツアー(サハリンの旅行会社が企画する稚内ツアー)参加者に対し、自由行動日の追加メニュー(オプションツアー)として、日本文化体験、地元食材を使った料理体験等を提供する予定であったが、航路欠航と胆振東部地震による影響で稚内ツアー自体が中止となったため、予定していたオプションツアーは、すべてキャンセルとなった。

- ・ アウトバウンド促進事業負担金

定期航路を利用した日本人のサハリン渡航を促進するため、日本側でチケットを購入する往復利用者を対象に、運賃助成を実施した。

運賃助成 大人(@5,000 円) 79 件

青年(@3,000 円) 32 件

小人(@2,000 円) 0 件

- ・ 日ロフェリー定期航路利用促進協議会負担金
- ・ 稚内・コルサコフ定期航路利用促進協議会負担金 《地方創生推進交付金事業対象》
- ・ 定期航路利用促進合同会議・友好都市経済交流促進会議の開催

稚内・コルサコフ定期航路利用促進合同会議

開催日 : 平成 30 年 8 月 24 日(金)

開催地 : 稚内市

友好都市経済交流促進会議

開催日：平成30年8月24日(金)

開催地：稚内市

○ 稚内日ロ経済交流協会事業費補助事業

- ・ 会員企業への同行通訳、サハリン情報紙の発行等を行う稚内日ロ経済交流協会への補助金

○ サハリン貿易振興事業

- ・ サハリン貿易振興事業委託
- ・ サハリン貿易振興事業補助金 《地方創生推進交付金事業対象》
貨物船チャーター支援 5回(貨物量:合計約65トン)
- ・ サハリン貿易輸出支援補助金 《地方創生推進交付金事業対象》
輸出経費支援 9件

○ サハリン経済交流等推進事業 《地方創生推進交付金事業対象》

- ・ ユジノサハリンスク北海道物産展「北海道フェア2018」出展ほか
道北地域の9市(旭川、名寄、士別、留萌、紋別、深川、芦別、富良野、稚内)が連携し、北海道が主催する物産展「北海道フェア2018」に北北海道ブースとして出展し、サハリン州住民に道産品の紹介・販売を行ったほか、ユジノサハリンスク市内のスーパーマーケット内にアンテナショップコーナーを設置するトライアル輸出等を実施した。

「北海道フェア2018」

開催日 平成30年9月7日(金)～9月9日(日)

開催地 ユジノサハリンスク市(シティーモール)

来場者数 約8,500人

アンテナショップコーナー設置

設置場所 スーパーマーケット「スタリチヌイ」(ユジノサハリンスク市内)

設置期間 平成30年11月28日(水)～平成31年2月28日(木)

○ 稚内国際文化交流協議会事業費補助事業

- ・ 青少年派遣事業(高校生ホームステイ)

友好都市ネベリンスク市を稚内市内の高校生が訪問し、市内視察・交流プログラムの体験、ホームステイによる交流。

派遣人数 5人(生徒4人、引率1人)

派遣期間 平成30年7月30日(月)～8月4日(土)

- ・ 青少年受入事業(生徒ホームステイ)

友好都市ネベリスク市から生徒を受け入れ、先に同市を訪問した稚内市内の高校生とともに市内視察・交流プログラムの体験、ホームステイによる交流。

受入人数 5人(生徒4人、引率1人)

受入期間 平成30年8月10日(金)～8月14日(火)

- ・ 日露青年交流事業(サハリン野球連盟野球チームの招聘)

サハリン野球連盟の野球チームを迎え、本市滞在中の7月29日(日)には、市内球場にて地元軟式野球チームの選手たちと合同練習、交流試合を行った。

受入期間 平成30年7月25日(水)～8月1日(水)

受入人数 16人(サハリン野球連盟所属選手ほか(社会人選手8人・少年選手8人))

- サハリン事務所管理運営事業

派遣職員数(市職員) 1人

- ・ サハリンプロジェクト関連情報の収集
- ・ 地元企業に対する経済交流の支援
- ・ 各関係団体に対する交流の支援
- ・ 各種情報の収集・発信

市制施行 70 年・開港 70 年記念実施事業

○ 記念式典事業

〈97 ページ〉

- ・市制施行 70 年・開港 70 年記念式典
開催日 平成 30 年 7 月 14 日(土)
場 所 稚内総合文化センター 大ホール
出席者数 約 850 人

○ 公開番組誘致事業

〈97 ページ〉

- ・市制施行 70 年・開港 70 年記念「新・BS日本のうた」(NHK)公開録画
開催日 平成 30 年 5 月 10 日(木)
場 所 稚内総合文化センター 大ホール
来場者数 1,028 人

○ ラペルーズ顕彰記念碑建立メモリアル事業費補助事業

〈97 ページ〉

- ・メモリアル式典、祝賀会
開催日 平成 30 年 10 月 6 日(土)
場 所 宗谷岬公園、市内ホテル
出席者 43 人
- ・フランス海軍軍楽隊演奏会
開催日 平成 30 年 11 月 14 日(水)・15 日(木)
場 所 ゲストハウスアルメリア、市内百貨店催事場、稚内東中学校
参加者 400 人
- ・メモリアル講演会
開催日 平成 30 年 11 月 16 日(金)
場 所 市立図書館
出席者 32 人

○ 北の桜守資料展示施設開館記念事業

〈151 ページ〉

- ・ 北の桜守資料展示施設の開館に伴い、オープニングセレモニーを開催した。
開催日 平成30年4月29日(日)
内 容 吉永小百合さんを招いてのテープカット、桜の記念植樹の実施

○ 稚内港活性化事業

〈161 ページ〉

- ・ 大型クルーズ船「ばしふいっくびいなす」、「飛鳥Ⅱ」の稚内港寄港に伴い、歓迎セレモニーを開催した。
ばしふいっくびいなす:寄港日 平成30年7月10日(火)
飛鳥Ⅱ:寄港日 平成30年7月27日(金)

○ プロバスケットボール交流戦開催事業

〈187 ページ〉

- ・ プロバスケットボールリーグ「Bリーグ」に所属するレバンガ北海道ほか1チームを招聘し、交流戦を開催したほか、子どもたち向けの指導教室を開催した。
交流戦開催日 平成30年9月16日(日)及び17日(月)
場 所 稚内市総合体育館

○ 日本最北端わっかない平和マラソン開催費補助事業

〈187 ページ〉

- ・ これまで行われてきた「平和マラソン大会」にフルマラソンの部を加え、「第1回日本最北端わっかない平和マラソン」として開催。北防波堤ドームをスタート、ゴールとする8・5・2kmの部と宗谷岬から北防波堤ドームをめざすフルマラソンの部に国内外から合わせて2,402人のランナーがエントリーした。

開催日 平成30年9月2日(日)

エントリー合計 2,402人、完走者合計 2,047人(昨年度 エントリー1,304人、完走者1,162人)

フルマラソンの部 エントリー965人、完走者765人(平成30年度新設)

8kmの部 エントリー153人、完走者140人(昨年度 エントリー83人、完走者72人)

5kmの部 エントリー626人、完走者529人(昨年度 エントリー621人、完走者524人)

2kmの部 エントリー482人、完走者457人(昨年度 エントリー410人、完走者380人)

親子ペア(2kmの部) エントリー176人、完走者156人(昨年度 エントリー190人、完走者186人)